

# 人口減少分析・市民意識調査分析結果 報告書

## 目次

|     |                                |    |
|-----|--------------------------------|----|
| I   | 人口動向に関する調査・分析.....             | 1  |
| 1.  | 未婚率・出生数等による調査・分析.....          | 1  |
| 2.  | 子育て世帯アンケートによる調査・分析.....        | 4  |
| 3.  | 転出入事由アンケートによる調査・分析.....        | 7  |
| 4.  | 職員ヒアリングによる調査・分析.....           | 10 |
| 5.  | 統計データによる調査・分析.....             | 12 |
| II  | 市民意識調査(市政アンケート)に関する調査・分析.....  | 19 |
| 1.  | 32 政策指標における充実度・重要度の調査・分析.....  | 19 |
| 2.  | 自由記入におけるテキストマイニングによる調査・分析..... | 29 |
| III | 分析のまとめ.....                    | 35 |

# I 人口動向に関する調査・分析

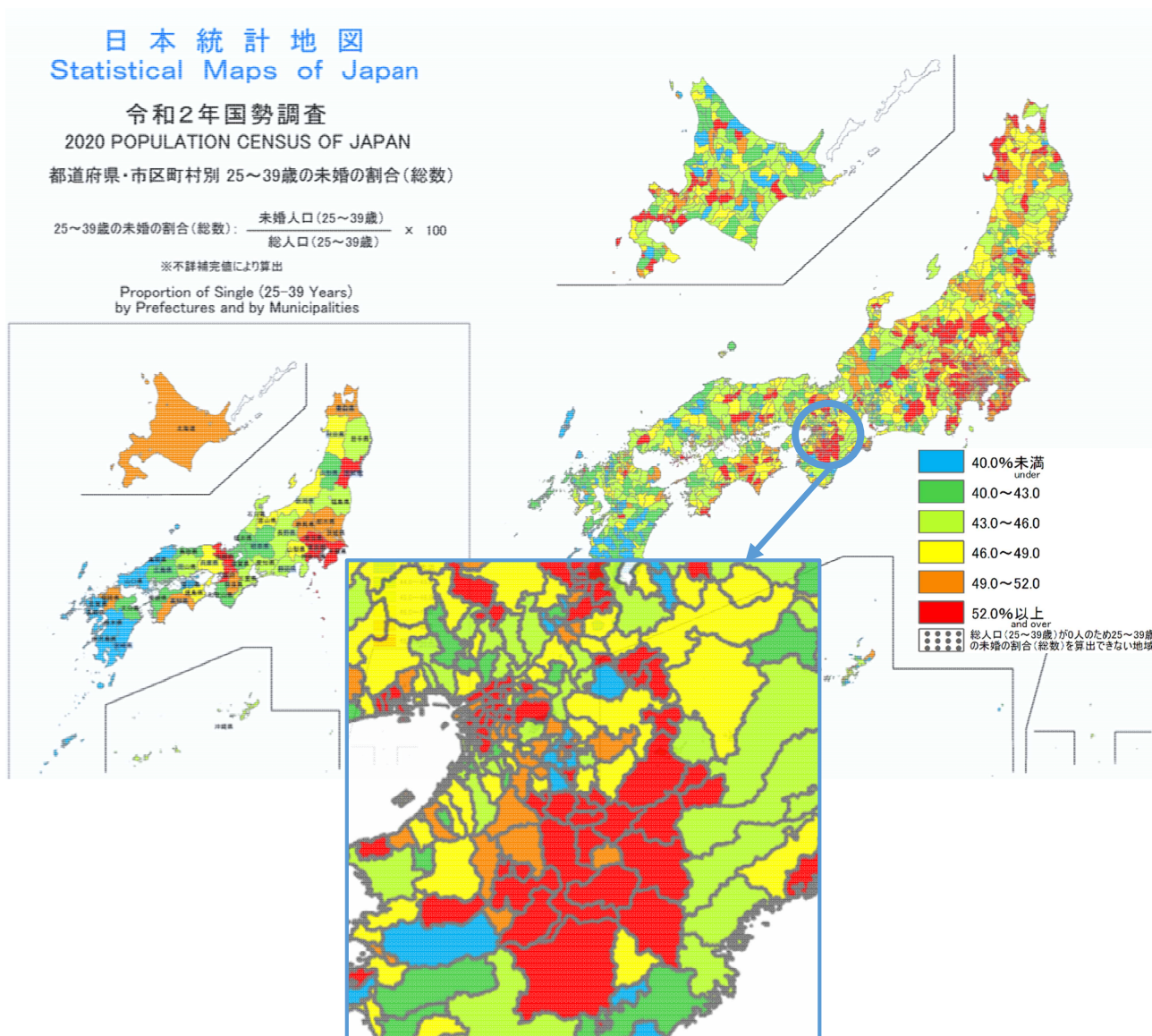
## 1. 未婚率・出生数等による調査・分析

### 分析結果

- 25～49歳の未婚の割合は、奈良県、全国よりも高くなっている。特に、男性の未婚の割合が高く、年齢別では30歳以上で奈良県よりも高くなっている。
- 出生数は減少しており、特に2020年から2022年にかけて大きく減少している。また、合計特殊出生率は2017年に1.47と全国よりも高くなったが、その後減少し、2022年は1.18となっている。

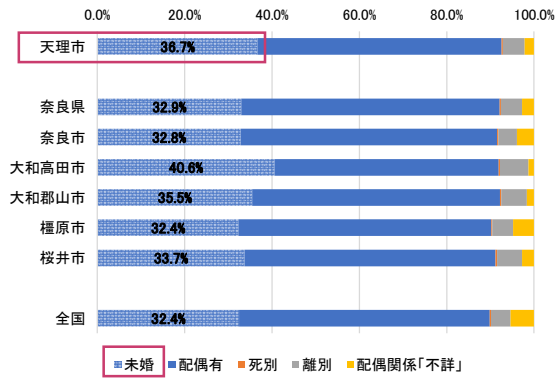
### 【参考】都道府県・市町村別 25～39歳の未婚の割合(総数)

- 天理市の25～39歳の未婚の割合は、「49.0～52.0%」で、周辺の奈良市、大和郡山市、橿原市、桜井市、田原本町よりも高くなっている。

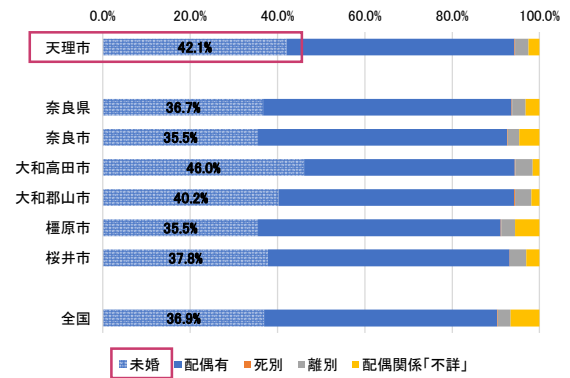


# 性別・年齢別の配偶関係の割合

## 25～49 歳の配偶関係の割合



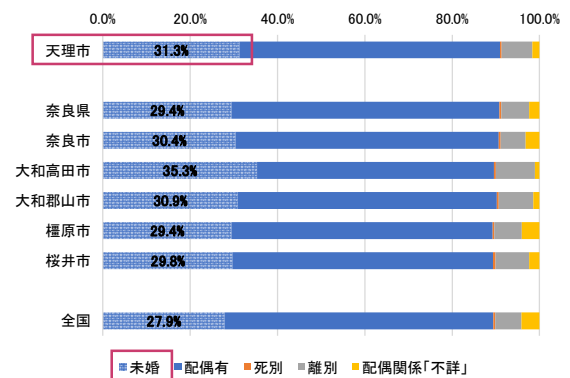
## 25～49 歳・男性の配偶関係の割合



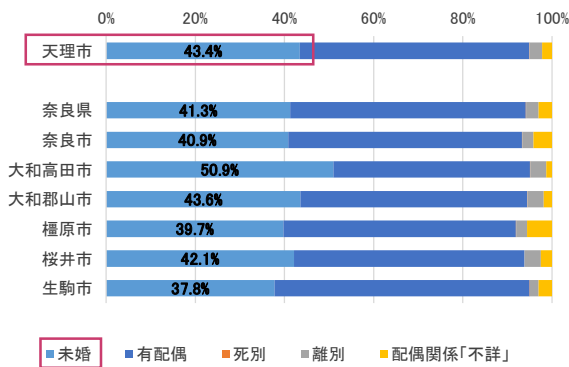
男性

女性

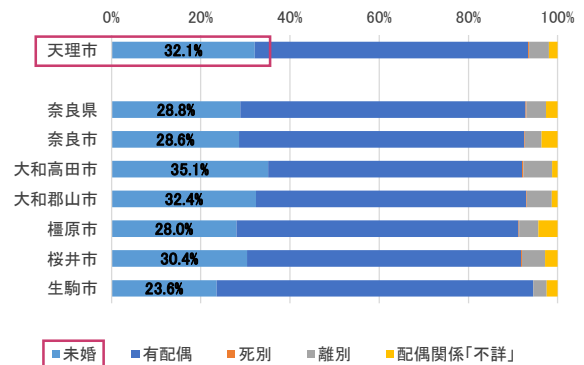
## 25～49 歳・女性の配偶関係の割合



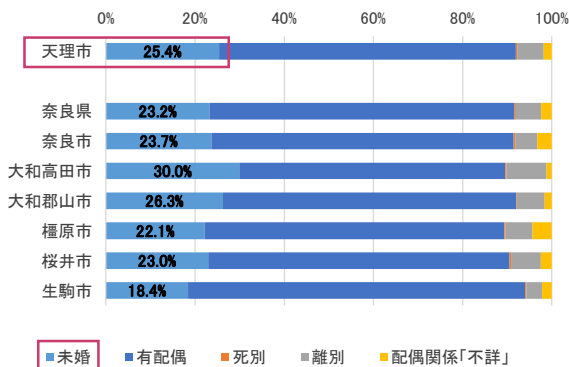
## 30～35 歳の配偶関係の割合



## 35～40 歳の配偶関係の割合



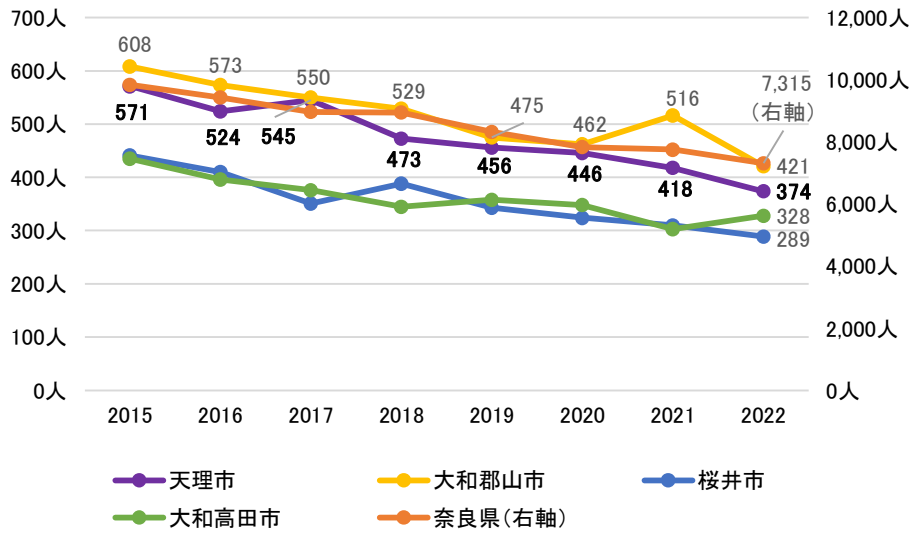
## 40～45 歳の配偶関係の割合



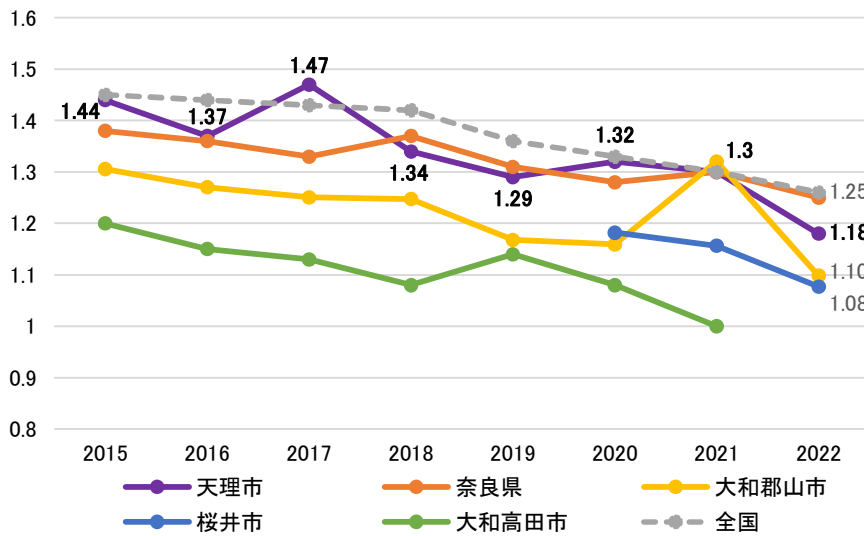
【出典】総務省「令和2年国勢調査」

## 出生数及び合計特殊出生率の推移

### 出生数の推移



### 合計特殊出生率の推移



【出典】総務省「令和2年国勢調査」

## 2. 子育て世帯アンケートによる調査・分析

調査時期：2023年11月～2024年1月末

調査方法：天理市内の幼稚園、保育園から園児の親に調査票を配布

回答数：516件

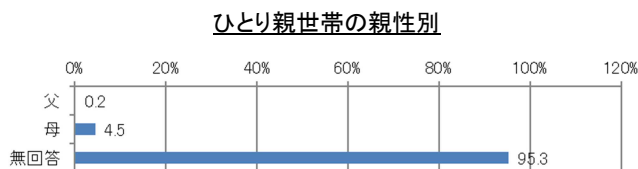
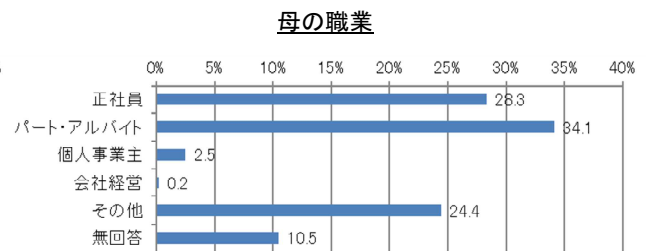
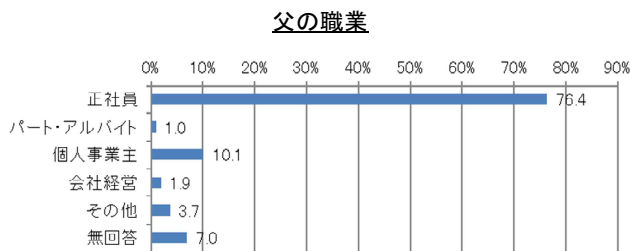
### 属性

○第1子の年齢は5歳が17.1%、8歳が12.0%、4歳が10.7%で、第2子は5歳が11.5%、6歳が10.9%、4歳が10.7%となっている。

○子どもが「2人以上いる」のは81.6%、「3人以上」は34.3%、「4人以上」は10.8%、「5人以上」は2.5%となっている。

○父の職業は「正社員」が76.4%、「個人事業主」が10.1%、母は「パート・アルバイト」が34.1%、「正社員」が28.3%となっている。

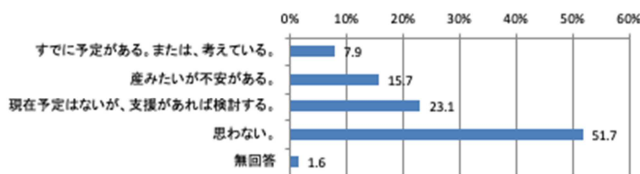
○ひとり親世帯は全体の4.7%となっている。



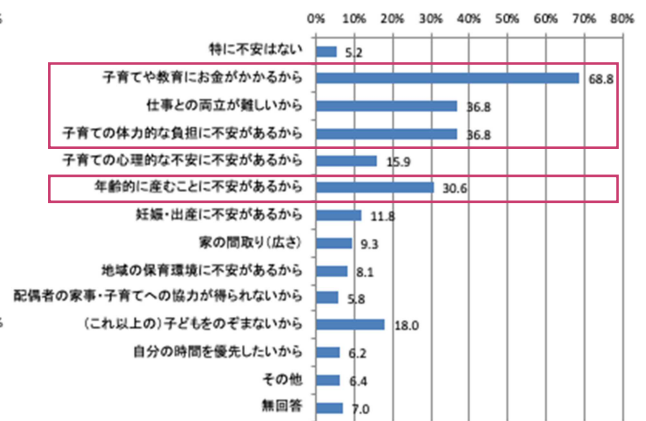
## 分析結果

- 子どもをもう一人産み育てたいかは、
  - ・「思わない」 51.7%
  - ・「現在予定はないが、支援があれば検討する」 23.1%
  - ・「産みたいが不安がある」 15.7%
  
- 子どもをもう一人産み育てることへの不安や考えは、
  - ・「子育てや教育にお金がかかるから」 68.8%
  - ・「仕事との両立が難しいから」 36.8%
  - ・「子育ての体力的な負担に不安があるから」 36.8%
  - ・「年齢的に産むことに不安があるから」 30.6%
  
- 子どもをもう一人産み育てるために必要な支援は、
  - ・「子育てに関する経済的支援の充実」 78.5%
  - ・「子育て世帯が働きやすい仕事・雇用形態の充実」 57.0%
  - ・「保育所・こども園の充実」 31.5%
  - ・「企業に対する職業環境の改善の働きかけ（労働時間短縮、育児休業取得推進など）」 30.8%

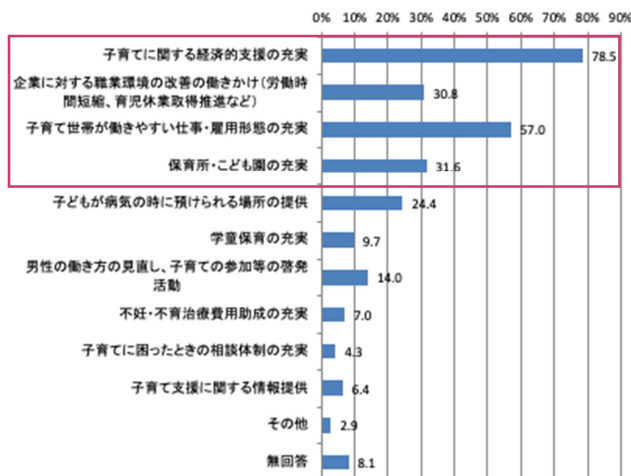
子どもをもう一人産み育てたいと思うか



子どもをもう一人産み育てることへの不安、考え



子どもをもう一人産み育てるために必要な支援



## 【参考】奈良市の子育て世帯アンケートの分析

調査時期：2015年6月22日～7月6日  
 調査方法：郵送により調査票を配布・回収  
 回答数：440票（発送数1,000票）

### 分析結果

○天理市の子育て世帯のアンケート結果と同様の傾向が見られる

○現在の子どもの数は、

- ・「1人」20.5%、「2人」25.0%、「3人」7.0%、「4人以上」1.4%
- ・「子どもはいない」43.6%

○子どもが欲しくない、または「現実的に考えた子どもの数」が「希望の子どもの数」よりも少なくなる理由は、

- ・「子育てや教育にお金がかかるから」 73.3%
- ・「仕事との両立が難しいから」 39.1%
- ・「子育ての体力的な負担に不安があるから」 27.9%
- ・「子育ての心理的な負担に不安があるから」 24.8%

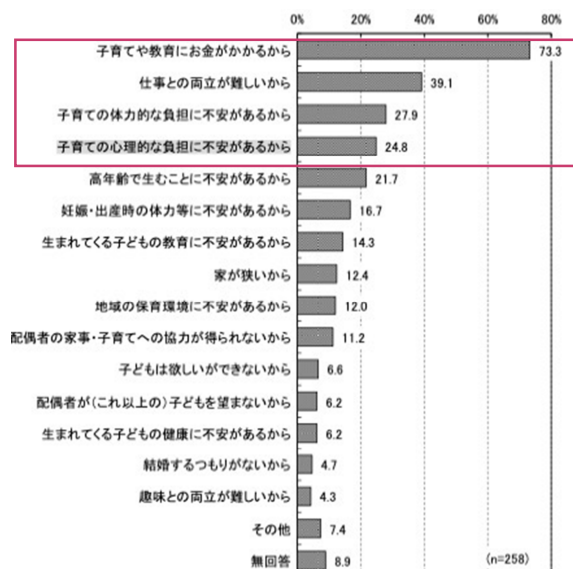
○希望の数の子どもをもつために必要と思われる支援は、

- ・「子育てに関する経済的支援の充実」 71.4%
- ・「企業に対する職場環境の改善の働きかけ（労働時間短縮、育児休業取得促進など）」 47.3%
- ・「保育所の待機児童の解消」 43.0%
- ・「子どもが病気の時の保育サービス」 35.0%

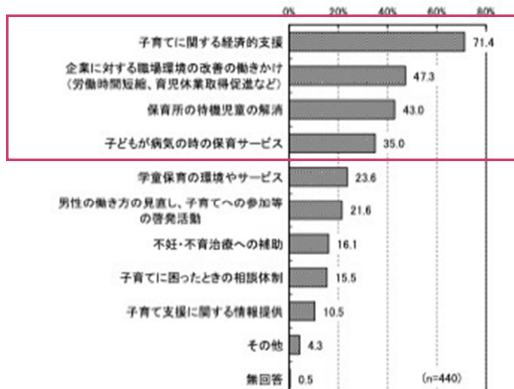
現在の子どもの数

|        | 調査数   | 1人   | 2人   | 3人   | 4人以上 | 子どもはいない | 無回答 |
|--------|-------|------|------|------|------|---------|-----|
| 全体     | 440   | 90   | 110  | 31   | 6    | 192     | 11  |
|        | 100.0 | 20.5 | 25.0 | 7.0  | 1.4  | 43.6    | 2.5 |
| 18・19歳 | 17    | 0    | 0    | 0    | 0    | 17      | 0   |
|        | 100.0 | 0.0  | 0.0  | 0.0  | 0.0  | 100.0   | 0.0 |
| 20歳代   | 155   | 25   | 10   | 3    | 1    | 110     | 6   |
|        | 100.0 | 16.1 | 6.5  | 1.9  | 0.6  | 71.0    | 3.9 |
| 30歳代   | 263   | 65   | 93   | 28   | 5    | 83      | 4   |
|        | 100.0 | 24.7 | 37.3 | 10.6 | 1.9  | 24.0    | 1.5 |

子どもが欲しくない、または「現実的に考えた子どもの数」が「希望の子どもの数」よりも少なくなる理由



希望の数の子どもをもつために必要と思われる支援





### 3. 転出入事由アンケートによる調査・分析

#### (1) 転入事由アンケート

調査時期：2023年10月～2024年1月末

調査方法：天理市役所窓口で、天理市職員が転入者に対して調査票をもとにヒアリング

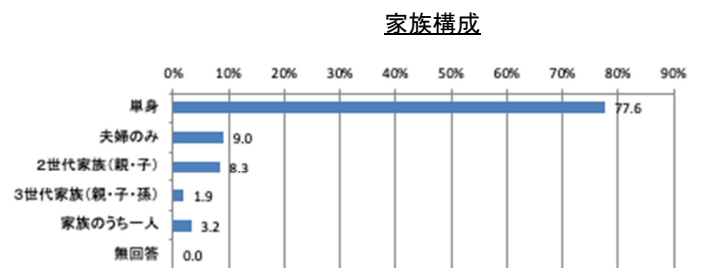
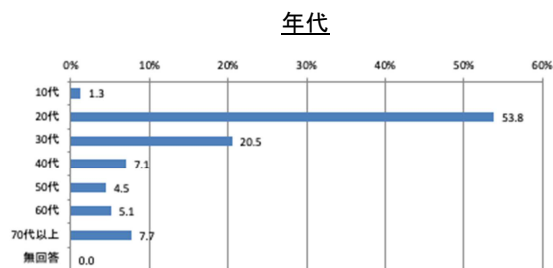
回答数：156件

※転入、転出アンケートは今後も継続して実施。

#### 属性

○年齢は「20歳代」が53.8%、「30歳代」が20.5%となっている。

○家族構成は、「単身」が77.6%と多く、ついで「夫婦のみ」が9.0%、「2世帯世代（親・子）」は8.3%となっている。



#### (2) 転出事由アンケート

調査時期：2023年10月～2024年1月末

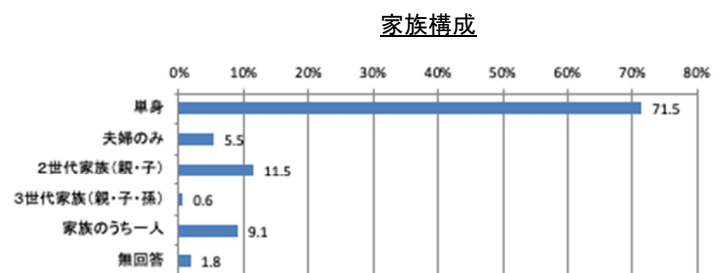
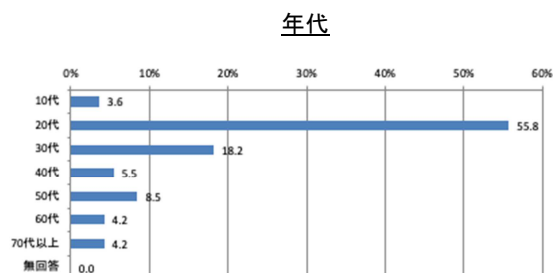
調査方法：天理市役所窓口で、天理市職員が転出者に対して調査票をもとにヒアリング

回答数：165件

#### 属性

○年齢は「20歳代」が55.8%、「30歳代」が18.2%となっている。

○家族構成は「単身」が71.5%と多く、ついで「2世代世帯（親・子）」は11.5%、「家族のうち一人」は9.1%となっている。





## 分析結果(転入事由アンケート)

### ○転入元は、

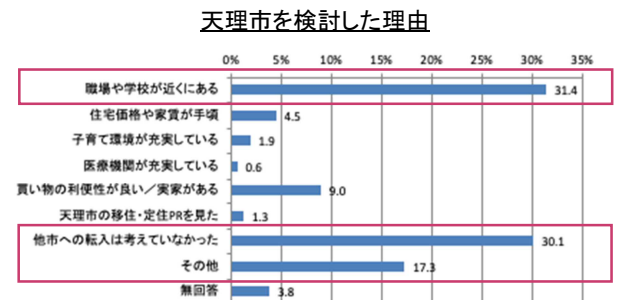
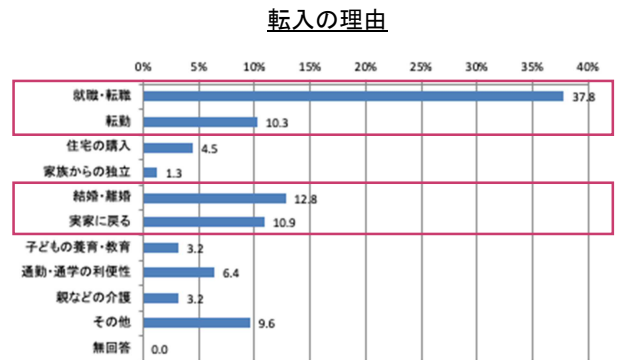
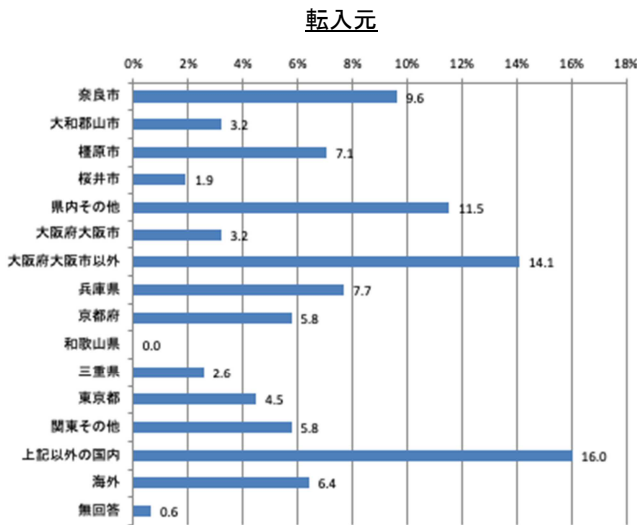
- ・「奈良県内」 33.3%、「近畿圏（奈良県を含む）」 64.1%、
- ・奈良県内では、  
「奈良市」 9.6%、「橿原市」 7.3%、「大和郡山市」 3.2%、「桜井市」 1.9%

### ○転入の理由は、

- ・「就職・転職」 37.8%
- ・「結婚・離婚」 12.8%
- ・「実家に戻る」 10.9%
- ・「転勤」 10.3%

### ○転入で天理市を検討した理由は、

- ・「職場や学校が近くにある」 31.4%
  - ・「他市への転入は考えていなかった」 30.1%
  - ・「その他」 17.3%
- その他の意見は、婚姻、同居、交通利便性、住宅購入であった



## 分析結果(転出事由アンケート)

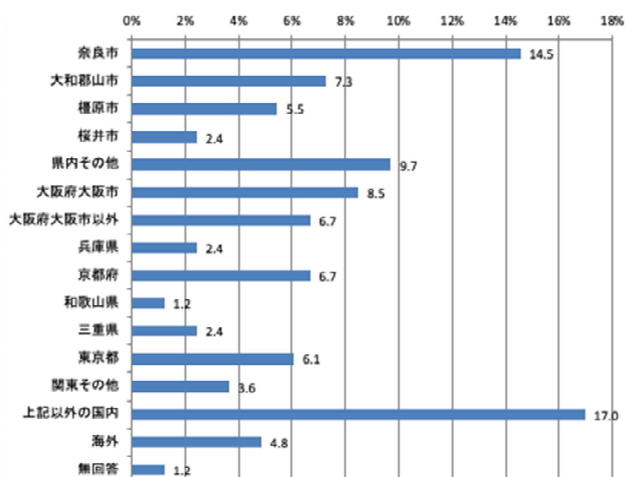
### ○転出先は、

- ・「奈良県内」 39.4%、「近畿圏（奈良県を含む）」 64.8%
- ・奈良県内では、  
「奈良市」 14.5%、「大和郡山市」 7.3%、「橿原市」 5.5%、「桜井市」 2.4%、  
「県内その他」 9.7%

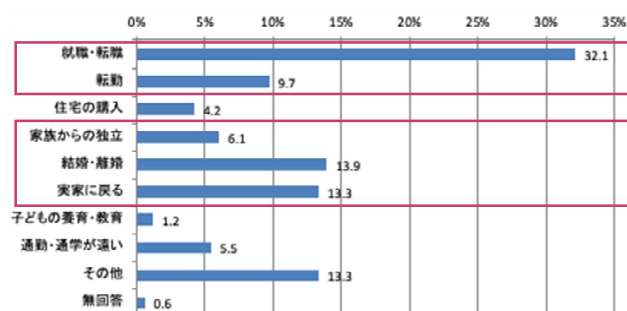
### ○転出先を選んだ理由は、

- ・「就職・転職」 32.1%
- ・「結婚・離婚」 13.9%
- ・「実家に戻る」 13.3%
- ・「転勤」 9.7%
- ・「家族からの独立」 6.1%

転出先



転出先を選んだ理由



## 4. 職員ヒアリングによる調査・分析

調査時期：2023年12月15日（金）14：00～15：00

調査方法：天理市職員を集めたワークショップ形式

ワーク：「常住地を選択した理由」、「現在の天理市の魅力」、「これからの天理市の魅力アップに必要なこと」を挙げてもらった

参加者数：11人

### 分析結果

- 天理市の魅力アップに必要なことでは子どもの遊び場環境や教育に対する意見があった。また、生活する上での買い物の利便性向上や道路、治安に対する意見も挙がった。
- 天理市は、周辺市町の商業施設や他府県に旅行に行くには、鉄道や幹線道路、高速道路があるため魅力的な立地であるが、日常の生活で必要となる、徒歩や自転車圏内での商業の充実、道路整備には、課題があると考えられる。
- また、「常住地を選択した理由」と「現在の天理市の魅力」を比較すると、「買い物利便性」や「公園」、「道路事情」については、天理市では十分に満たされていないと考えられる。

### 常住地を選択した理由、現在の天理市の魅力、これからの天理市の魅力アップに必要なことのまとめ

| 常住地を選択した理由 | 現在の天理市の魅力   | これからの天理市の魅力アップに必要なこと   |
|------------|---|--|
| 実家が近い      |   |  |
| 職場が近い      |   |  |
| 買い物利便性が良い  |   |  |
| 交通利便性が良い   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・周辺商業施設にアクセスしやすい</li> <li>・遠出は他府県にアクセスしやすい</li> <li>・近鉄が始発</li> <li>・京都まで乗り換えなしで行ける</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>○子育て環境に関すること                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て世代が魅力だと感じる店舗の誘致や企業とのコラボ</li> <li>・教育に力を入れる</li> <li>・広い芝生、大型遊具の公園がほしい</li> </ul> </li> <li>○買い物利便性に関すること                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・大型商業施設がほしい</li> </ul> </li> <li>○道路に関すること                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・広くする</li> <li>・夜が暗い</li> <li>・治安を良くする</li> </ul> </li> <li>○その他                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・自転車や徒歩圏内での生活環境の充実</li> </ul> </li> </ul> |
| 施設が近い      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・医療機関が充実</li> <li>・病院が多い</li> </ul>  |  |
| 公園が近い      |   |  |
| 自然環境が良い    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・自然とまちのバランスが良い</li> <li>・イチョウ並木がきれい、自然ある</li> </ul>  |  |
| 住宅を購入した    |   |  |
| 道路事情が良い    |   |  |
| その他        | <ul style="list-style-type: none"> <li>「治安が良い」                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・安全なまち、犯罪が少ない</li> <li>・夜、うるさくない</li> <li>・騒がしくない</li> </ul> </li> <li>「地域のコミュニティ」                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・近所との距離がちかい</li> </ul> </li> <li>「その他」                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・コフンがある</li> <li>・スポーツで有名</li> <li>・ゴミ袋が無料</li> </ul> </li> </ul> |  |

### 常住地を選択した理由(全意見)

|        |   |
|--------|---|
| 実家の近く  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の実家と妻の実家の中間あたりで住宅を購入</li> <li>・お互いの実家から中間地点</li> <li>・親戚の家が近い</li> <li>・実家が田原本町だったため、現在も田原本町在住</li> <li>・両親が桜井市に住んでいるので</li> <li>・実家が天理市内</li> <li>・祖父母が住んでいる近く</li> <li>・子育てする上で、実家の近く</li> <li>・もともと、天理在住</li> </ul>      |
| 職場の近く  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・実家よりも職場に近かった</li> <li>・職場への通勤時間が短い</li> <li>・職場に通いやすい、電車の乗り換えがない</li> <li>・妻の職場に近かったから</li> <li>・役場が近い</li> <li>・職場が近い</li> <li>・職場から遠すぎない</li> <li>・職場と実家が近い</li> </ul>  |
| 買い物利便性 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・スーパーが歩いていける距離</li> <li>・買い物しやすい</li> <li>・生活に必要な買い物の施設が、車で20分以内に揃っている</li> <li>・ならファミリーが近い、買い物がしやすい</li> <li>・大型ショッピングモールが近い、買い物が便利、コンビニが多い</li> <li>・出身地(大淀)より便利</li> <li>・スーパーが近い</li> <li>・買い物しやすい</li> </ul>              |
| 交通利便性  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・駅の近く、通勤に時間がかからない</li> <li>・自転車で行ける範囲になんでもそろっている</li> <li>・車や電車で出かけるときの利便性の良さ</li> <li>・駅まで歩いていける</li> <li>・北(奈良市)にも、南(橿原市)にも行きやすい</li> <li>・田原本町でなければ、橿原に住みたい、八木駅周辺が便利</li> <li>・交通の便が良い(鉄道、道路)</li> <li>・駅まで歩ける距離</li> </ul> |
| 施設の近く  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・保育所が近い</li> <li>・病院が近くにある</li> <li>・小学校から近いところ</li> </ul>   |
| 公園の近く  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・公園が近くにある</li> <li>・子供が遊べる公園がいっぱいある</li> <li>・近くに公園がある</li> </ul>  |
| 自然環境   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ほどよい自然がある田舎</li> <li>・自然豊か、とても静か</li> <li>・静かな場所</li> <li>・裏通りに桜の木がある</li> </ul>  |
| 住宅購入   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・住宅価格が天理とそれほど変わらなかった</li> <li>・土地が安かった</li> </ul>  |
| 道路     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・車通りが少なく、広い道路に面している</li> <li>・平坦</li> </ul>  |
| その他    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・治安が悪すぎない</li> <li>・新婚夫婦に家賃補助などがあればその市に住むかも</li> </ul>   |

### 現在の天理市の魅力(全意見)

|         |   |
|---------|---|
| 交通利便性   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・車で他府県へのアクセスが良い</li> <li>・京都まで乗り換えなしで行ける</li> <li>・近鉄電車が始発</li> <li>・大型ショッピングモールに行きやすい</li> <li>・便利すぎず、不便すぎず</li> <li>・名阪に乗りやすい</li> <li>・市外の商業施設に行きやすい</li> </ul> |
| 治安が良い   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・安全なまち、犯罪が少ない</li> <li>・騒がしくない(賑わいとは違う)</li> <li>・夜、うるさくない</li> </ul>  |
| 医療機関が充実 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・病院が多い</li> <li>・医療機関が充実</li> </ul>  |
| 自然環境    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・自然とまちのバランスが良い</li> <li>・イチョウ並木がきれい、自然もある</li> </ul>   |
| コミュニティ  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・近所との距離が近い</li> </ul>  |
| その他     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもが楽しく学校に通っている</li> <li>・古墳がいっぱい</li> <li>・ごみ袋が無料</li> <li>・コフンがある</li> <li>・スポーツで有名</li> </ul>  |

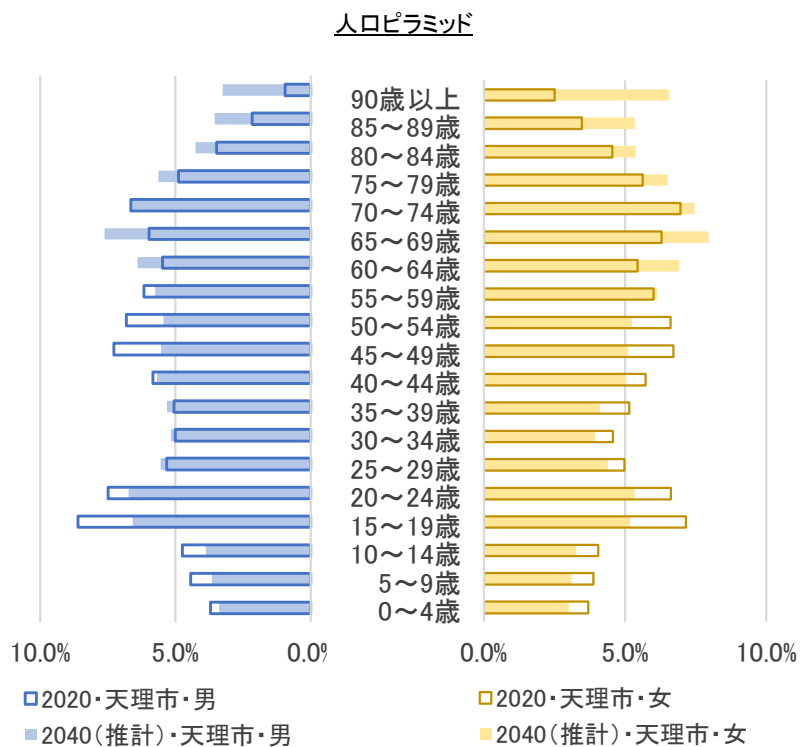
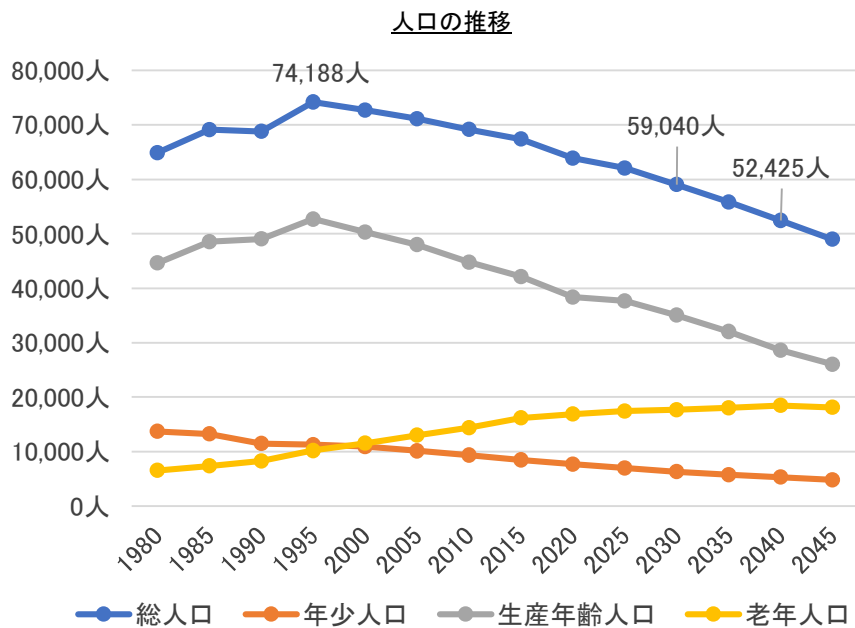
### これからの天理市の魅力アップに必要なこと(全意見)

|        |  |
|--------|--|
| 子育て    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て世代に魅力あるメーカーの誘致やコラボ(桜井駅前のポーネルド)</li> <li>・教育に力を入れているまちが良い</li> <li>・アミューズメント施設がもっとあれば良いかも</li> <li>・ボール遊びができるぐらい広い芝生の公園があれば良い</li> <li>・子どもと公園でのびのび遊べるというイメージ作り</li> <li>・大型の遊具がいっぱいあって、駐車場が大きい公園がほしい</li> </ul> |
| 買い物利便性 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・大型商業施設がない</li> </ul>   |
| 治安     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・夜、暗くならないようになつたら安心して外出できる</li> </ul>  |
| 道路     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・道が広い方が良い</li> </ul>  |

## 5. 統計データによる調査・分析

### (1)人口推移

○天理市の人口は1995年の74,188人をピークに減少し、2020年は63,889人、2030年には59,040人、2040年には52,425人（2020年と比較して約17.9%減少）になると見込まれている。



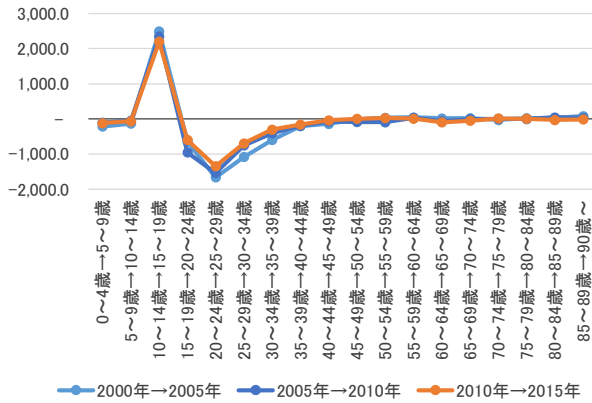
【出典】 総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」

【注記】 2025年以降は「国立社会保障・人口問題研究所」のデータ（平成30年3月公表）に基づく推計値。

## (2) 転出入・移動の状況

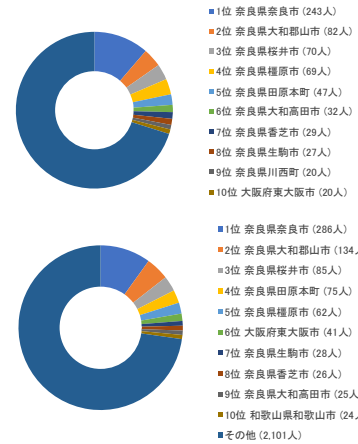
- 転出入状況は、中学進学で転入超過であるが、高校や大学進学、就職で転出超過となっている。
- 転入元の上位は「奈良市」、「大和郡山市」、「桜井市」、「橿原市」、「田原本町」
- 転出先は「奈良市」、「桜井市」、「田原本町」、「橿原市」、「東大阪市」
- 奈良県内の近隣市町が上位となっている。

年齢階級別純移動数の推移



【出典】総務省「国勢調査」、厚生労働省「都道府県別生命表」に基づきまち・ひと・しごと創生本部作成

転入(上)・転出(下)者数の上位地域(2022年)



【出典】総務省「住民基本台帳人口移動報告」

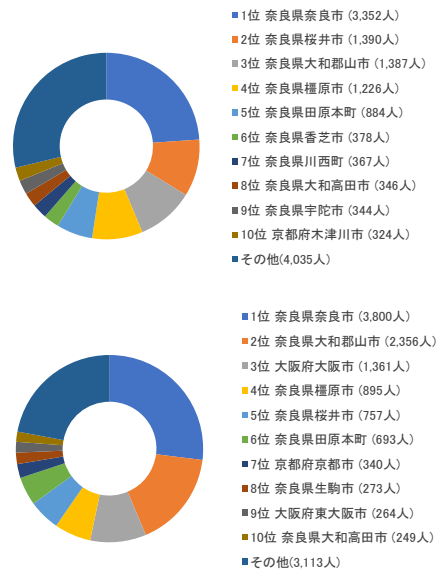
- 人口の移動状況は、天理市の昼夜間人口比率は 100.0 で、流入数は 14,033 人、流出数は 14,101 人となっている。
- 周辺市町と比較して、100 を超えているのは天理市と大和郡山市

昼夜間人口比率

| 市町    | 昼夜間人口比率 |
|-------|---------|
| 天理市   | 100.0   |
| 奈良市   | 94.7    |
| 大和高田市 | 87.8    |
| 大和郡山市 | 105.6   |
| 橿原市   | 93.7    |
| 桜井市   | 87.5    |
| 生駒市   | 82.3    |
| 香芝市   | 78.9    |
| 葛城市   | 85.1    |
| 平群町   | 76.1    |
| 三郷町   | 79.1    |
| 斑鳩町   | 77.7    |
| 安堵町   | 85.4    |
| 川西町   | 98.1    |
| 三宅町   | 77.5    |
| 田原本町  | 92.8    |

【出典】総務省「令和2年国勢調査」

流入(上)・流出(下)者数の上位地域(2020年)

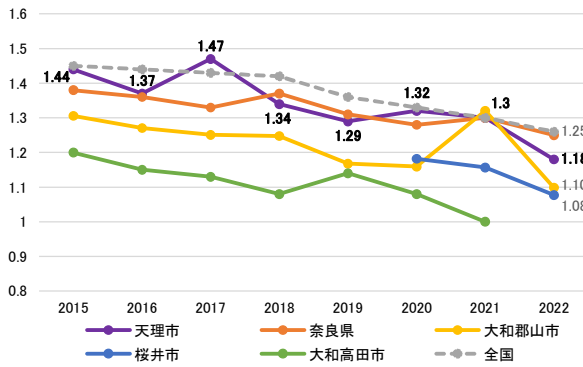


【出典】総務省「国勢調査」

### (3) 家族構成の状況

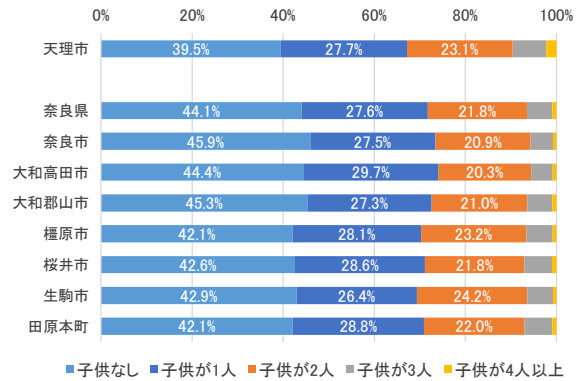
- 合計特殊出生率は2017年に1.47と全国よりも高くなったが、その後減少し、2022年は1.18となっている。
- 夫婦のいる家族世帯では、「子供が2人以上」の割合が若干高く、「三世帯世帯」の割合も同様の傾向が見られる。
- 一方、年齢階級別の家族類型では、「25～44歳」で「単独世帯」の割合が高くなっている。

合計特殊出生率の推移(再掲)



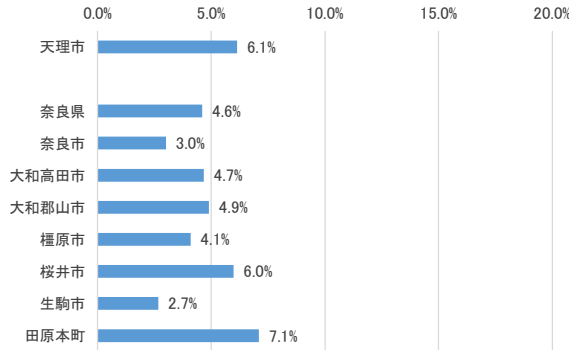
【出典】総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数に関する調査」

夫婦のいる家族世帯における子供の有無別の割合



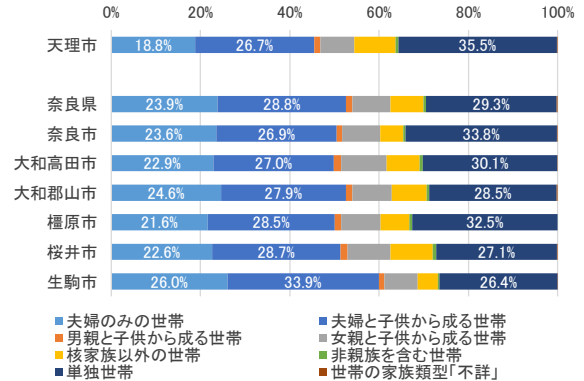
【出典】総務省「令和2年国勢調査」

三世帯世帯の割合



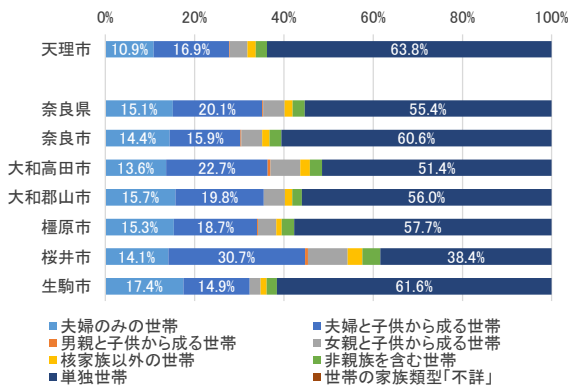
【出典】総務省「令和2年国勢調査」

家族類型の割合



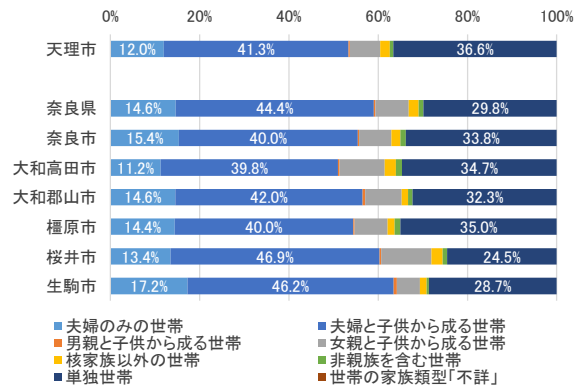
【出典】総務省「令和2年国勢調査」

世帯主 25～29歳の家族類型



【出典】総務省「令和2年国勢調査」

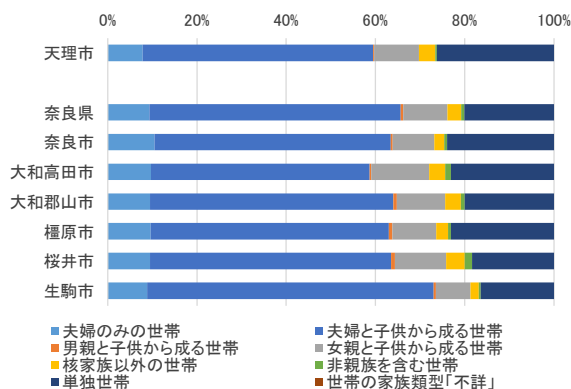
世帯主 30～34歳の家族類型



【出典】総務省「令和2年国勢調査」

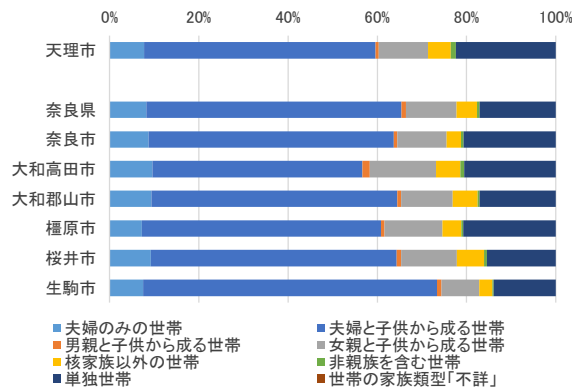


世帯主 35～39 歳の家族類型



【出典】総務省「令和2年国勢調査」

世帯主 40～44 歳の家族類型



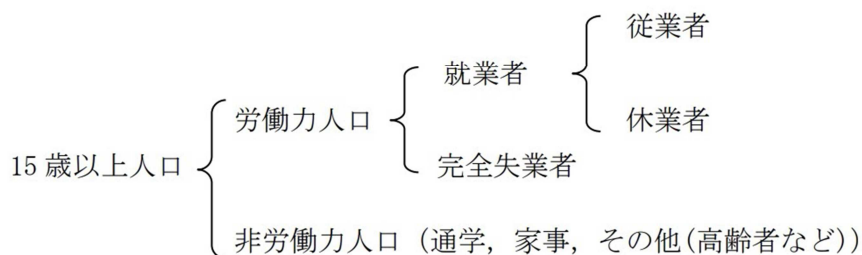
【出典】総務省「令和2年国勢調査」

#### (4)労働力の状況

- 労働力状態は、周辺市町と比較して、労働力人口割合が高くなっている。
- 年齢階級別では、男性で「30～49 歳」、「70～94 歳」、女性で「25～49 歳」、「55～84 歳」で割合が高い傾向にある。
- また、女性では「子供あり」の就労する妻の割合が高く、子供が小さいころから自市内で就労する傾向が見られる。

#### 労働力人口について

「非労働力人口」は、この順に分類される。具体的には、まず調査週間中に少しでも仕事をしていれば「従業者」となり、従業者ではないが「休業」の要件を満たす者は「休業者」、従業者でも休業者でもなく、「失業」の要件を満たす者は「完全失業者」、また、従業者、休業者、完全失業者のいずれにも属さない者は「非労働力人口」となる。つまり、経済活動に強く結び付いている者から順に取り出していくことになる。



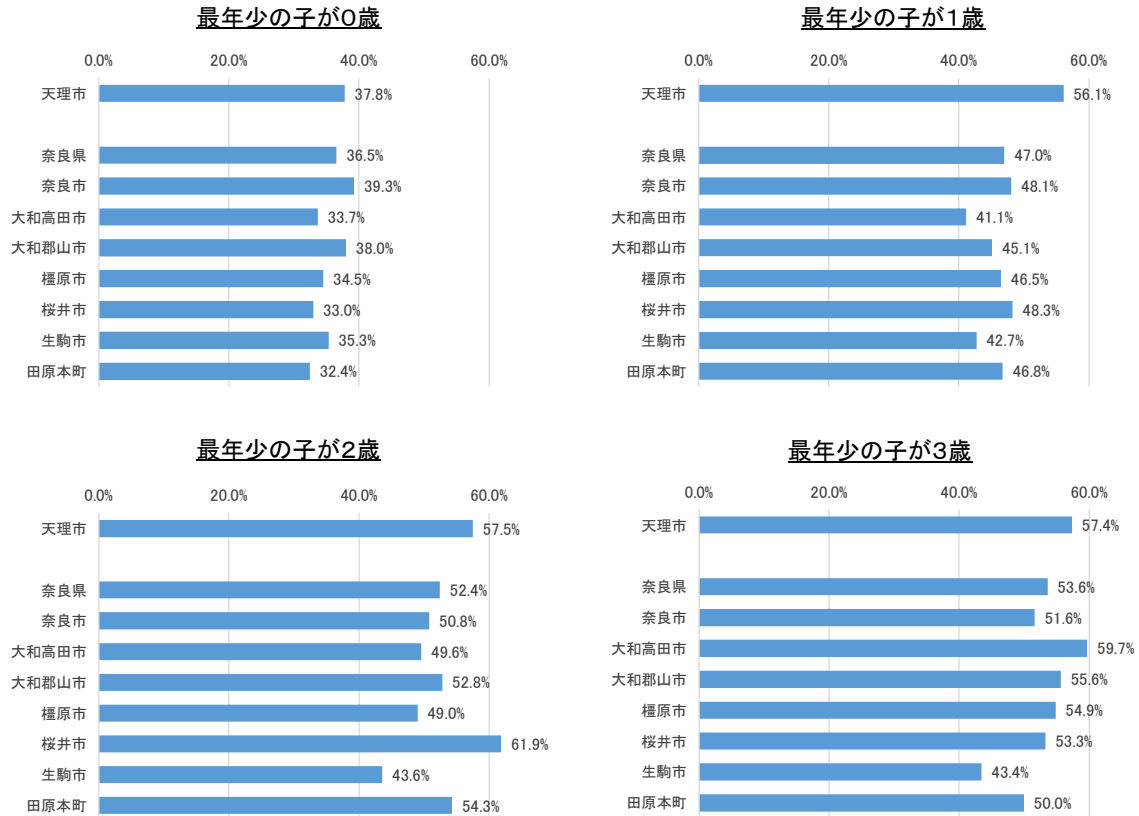
年齢階級(5歳階級)別の労働力人口(男性)の割合

|        | 天理市   | 奈良県   | 奈良市   | 大和高田市 | 大和郡山市 | 橿原市   | 桜井市   | 生駒市   | 田原本町  |
|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 15～19歳 | 63.7% | 60.9% | 60.6% | 62.5% | 60.3% | 60.6% | 62.9% | 56.2% | 64.6% |
| 20～24歳 | 12.0% | 12.8% | 12.4% | 14.5% | 13.5% | 15.4% | 14.3% | 9.6%  | 14.2% |
| 25～29歳 | 58.8% | 58.2% | 56.0% | 64.1% | 62.6% | 57.5% | 62.5% | 46.8% | 66.7% |
| 30～34歳 | 85.4% | 81.0% | 79.3% | 80.6% | 83.2% | 78.4% | 83.3% | 68.6% | 89.1% |
| 35～39歳 | 87.0% | 83.9% | 82.6% | 82.8% | 84.8% | 80.3% | 88.0% | 76.1% | 88.5% |
| 40～44歳 | 87.6% | 84.1% | 83.6% | 82.1% | 84.8% | 81.3% | 86.3% | 75.8% | 88.5% |
| 45～49歳 | 88.1% | 85.2% | 85.6% | 85.0% | 84.7% | 82.1% | 87.1% | 76.7% | 90.0% |
| 50～54歳 | 87.7% | 85.5% | 85.6% | 84.9% | 85.4% | 83.7% | 87.6% | 78.6% | 90.9% |
| 55～59歳 | 88.8% | 85.3% | 84.9% | 85.2% | 85.7% | 83.9% | 86.4% | 78.8% | 91.0% |
| 60～64歳 | 90.1% | 86.7% | 86.5% | 86.5% | 85.8% | 85.5% | 87.2% | 81.4% | 89.9% |
| 65～69歳 | 83.0% | 81.6% | 81.9% | 81.5% | 80.3% | 80.8% | 83.9% | 78.8% | 84.3% |
| 70～74歳 | 62.5% | 58.4% | 58.4% | 57.1% | 55.8% | 57.0% | 58.7% | 57.7% | 58.5% |
| 75～79歳 | 43.2% | 38.3% | 38.5% | 37.9% | 36.8% | 35.5% | 40.4% | 35.4% | 39.1% |
| 80～84歳 | 29.2% | 21.6% | 21.2% | 22.6% | 19.6% | 19.5% | 22.9% | 18.9% | 25.0% |
| 85～89歳 | 19.2% | 13.0% | 12.4% | 13.5% | 11.2% | 11.3% | 14.9% | 10.8% | 14.4% |
| 90～94歳 | 14.1% | 8.3%  | 8.3%  | 7.3%  | 6.9%  | 6.9%  | 9.8%  | 6.5%  | 12.1% |
| 95歳以上  | 9.1%  | 4.4%  | 4.2%  | 4.3%  | 2.8%  | 5.1%  | 4.8%  | 4.1%  | 6.7%  |

年齢階級(5歳階級)別の労働力人口(女性)の割合

|        | 天理市   | 奈良県   | 奈良市   | 大和高田市 | 大和郡山市 | 橿原市   | 桜井市   | 生駒市   | 田原本町  |
|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 15～19歳 | 49.7% | 44.1% | 44.2% | 45.5% | 43.5% | 45.0% | 46.5% | 40.4% | 45.8% |
| 20～24歳 | 14.5% | 14.7% | 15.9% | 16.4% | 15.9% | 14.3% | 14.1% | 11.7% | 16.8% |
| 25～29歳 | 68.8% | 61.6% | 60.7% | 64.2% | 62.1% | 62.6% | 62.0% | 54.1% | 68.6% |
| 30～34歳 | 77.3% | 74.8% | 75.2% | 76.1% | 76.3% | 73.7% | 76.1% | 68.2% | 74.4% |
| 35～39歳 | 68.0% | 66.2% | 66.5% | 67.3% | 67.1% | 63.9% | 68.5% | 59.3% | 67.9% |
| 40～44歳 | 69.3% | 65.4% | 64.8% | 66.8% | 66.0% | 63.8% | 67.8% | 57.9% | 68.4% |
| 45～49歳 | 74.3% | 68.8% | 67.4% | 70.3% | 70.2% | 67.4% | 71.4% | 59.9% | 71.5% |
| 50～54歳 | 74.0% | 70.8% | 69.7% | 71.6% | 72.5% | 70.1% | 74.1% | 64.5% | 76.3% |
| 55～59歳 | 75.4% | 69.8% | 70.1% | 69.2% | 69.3% | 68.4% | 72.1% | 62.9% | 73.1% |
| 60～64歳 | 72.3% | 66.2% | 66.0% | 64.6% | 66.3% | 65.9% | 71.8% | 60.8% | 65.9% |
| 65～69歳 | 60.5% | 52.9% | 52.7% | 53.6% | 53.9% | 52.4% | 58.1% | 46.5% | 53.6% |
| 70～74歳 | 39.9% | 32.4% | 32.6% | 34.0% | 30.0% | 32.3% | 35.1% | 27.4% | 31.4% |
| 75～79歳 | 25.5% | 19.2% | 19.3% | 20.2% | 18.8% | 17.8% | 21.6% | 14.1% | 21.7% |
| 80～84歳 | 16.8% | 10.1% | 9.9%  | 9.9%  | 8.9%  | 9.3%  | 11.9% | 7.6%  | 11.0% |
| 85～89歳 | 9.3%  | 5.7%  | 5.8%  | 5.1%  | 5.3%  | 4.8%  | 7.4%  | 4.8%  | 6.7%  |
| 90～94歳 | 6.1%  | 3.0%  | 2.6%  | 3.2%  | 2.3%  | 2.7%  | 4.1%  | 1.9%  | 5.2%  |
| 95歳以上  | 2.5%  | 1.5%  | 1.4%  | 2.3%  | 1.9%  | 1.6%  | 2.1%  | 1.3%  | 0.8%  |

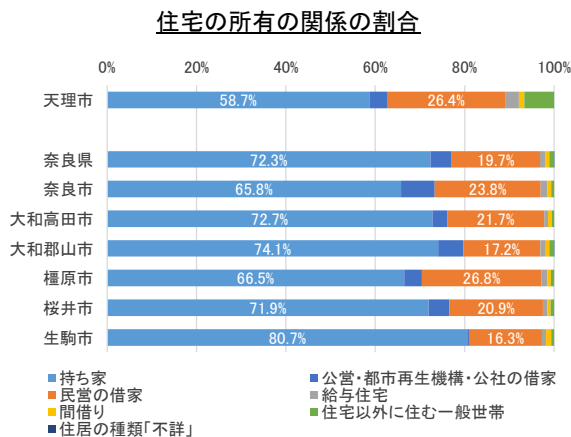
## 子供がいる世帯における就労する妻の割合



【出典】総務省「令和2年国勢調査」

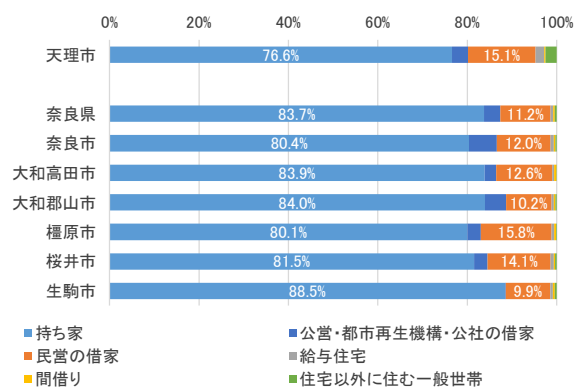
## (5)住宅の状況

- 住宅事情では、天理市は「持ち家」が58.7%と、奈良県の72.3%と比較して低くなっている。
- 単独世帯が多い天理市であるが、「夫婦のみ世帯」、「夫婦と子からなる世帯」でも、「持ち家」の割合が低く、「民営の借家」が高くなっている。
- 「持ち家における1世帯当たり人員」では、県平均より多い2.81人/世帯、「民営の借家」では県平均より少ない1.66人/世帯となっている。

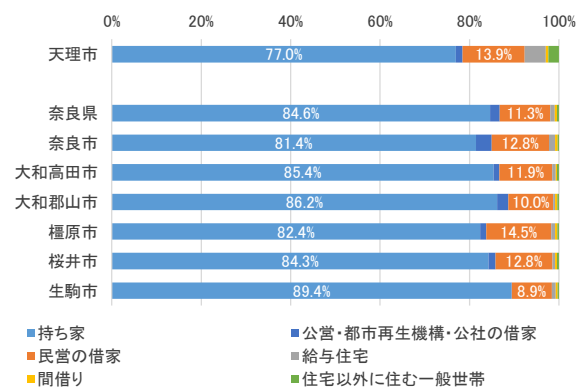


【出典】総務省「令和2年国勢調査」

夫婦のみ世帯の住宅の所有の関係の割合



夫婦と子からなる世帯の住宅の所有の関係の割合



【出典】総務省「令和2年国勢調査」

## Ⅱ 市民意識調査(市政アンケート)に関する調査・分析

### 1. 32 政策指標における充実度・重要度の調査・分析

令和2年度から令和4年度に実施した市民意識調査（市政アンケート）の32政策指標の充実度、重要度において、3年間を通じての経年の変化の視点で分析を行った。

#### 第6次総合計画(基本計画)の32政策指標の充実度、重要度の結果一覧

| 32政策指標 |    | R2                        |        | R3    |        | R4    |        |       |
|--------|----|---------------------------|--------|-------|--------|-------|--------|-------|
|        |    | 充実度                       | 重要度    | 充実度   | 重要度    | 充実度   | 重要度    |       |
| 福祉     | 1  | 地域全体でお互いに支え合い助け合う機会や仕組み   | 18.5%  | 4.1%  | 18.7%  | 6.4%  | 22.1%  | 5.7%  |
|        | 2  | 各種健診や相談等の健康づくり            | 50.8%  | 3.3%  | 69.9%  | 3.3%  | 67.8%  | 3.3%  |
|        | 3  | 安心して子どもを産み育てられる子育て支援      | 20.9%  | 10.6% | 19.1%  | 11.5% | 23.0%  | 12.1% |
|        | 4  | 介護保険サービスや高齢者の自立した生活       | 16.0%  | 10.6% | 18.6%  | 10.2% | 22.7%  | 9.6%  |
|        | 5  | 障害のある人に対する支援              | 10.9%  | 2.2%  | 5.8%   | 2.1%  | 14.7%  | 2.4%  |
| 教育     | 6  | 就学前・学校教育                  | 15.4%  | 3.6%  | 17.9%  | 2.2%  | 19.6%  | 2.6%  |
|        | 7  | 小中学校における教育環境              | 24.2%  | 5.1%  | 25.7%  | 4.3%  | 30.8%  | 5.0%  |
|        | 8  | 不登校やひきこもり等、青少年の健やかな育成への支援 | -4.6%  | 2.8%  | -9.1%  | 2.7%  | -5.7%  | 3.3%  |
|        | 9  | 文化教室・講座等の多様な学習機会          | 26.1%  | 1.0%  | 29.2%  | 0.5%  | 36.4%  | 0.5%  |
|        | 10 | 文化財の保存と活用                 | 31.6%  | 0.5%  | 43.1%  | 0.4%  | 49.2%  | 0.5%  |
|        | 11 | 人権の尊重・人権教育啓発              | 25.5%  | 1.1%  | 31.2%  | 1.0%  | 32.4%  | 0.7%  |
|        | 12 | 男女共同参画、女性活躍の推進            | 12.0%  | 0.7%  | 10.2%  | 0.2%  | 15.1%  | 0.8%  |
| 賑わい    | 13 | 天理の魅力を活かした観光振興            | 12.7%  | 2.1%  | 9.1%   | 3.0%  | 25.1%  | 2.5%  |
|        | 14 | 芸術文化やスポーツに親しむ機会や場所        | 23.8%  | 1.3%  | 22.1%  | 1.4%  | 41.9%  | 1.2%  |
|        | 15 | 地域内外に向けた天理の魅力を発信          | 2.4%   | 1.5%  | -4.0%  | 1.4%  | 11.6%  | 1.3%  |
| 産業     | 16 | 農林業の振興                    | -4.4%  | 1.8%  | -13.0% | 1.9%  | -7.2%  | 1.3%  |
|        | 17 | 商工業の振興                    | -2.9%  | 2.5%  | -17.9% | 1.9%  | -6.5%  | 1.7%  |
|        | 18 | 市内の就労環境                   | -13.7% | 3.0%  | -25.6% | 2.6%  | -22.7% | 1.9%  |
| 安心・安全  | 19 | 日頃の防災対策                   | 22.3%  | 4.6%  | 15.9%  | 3.3%  | 17.7%  | 3.0%  |
|        | 20 | 日常生活の中での犯罪や事故への対策         | 12.4%  | 4.8%  | 8.2%   | 4.8%  | 11.4%  | 3.8%  |
|        | 21 | 消防・救急体制                   | 45.3%  | 3.8%  | 63.2%  | 5.2%  | 58.2%  | 5.4%  |
|        | 22 | 消費者トラブルに対する相談窓口等の体制       | 2.6%   | 0.7%  | 3.9%   | 0.5%  | 3.6%   | 0.6%  |
| 都市環境   | 23 | 住みやすい都市環境に向けた整備           | 4.6%   | 8.5%  | 1.9%   | 11.7% | 7.8%   | 11.7% |
|        | 24 | 公共交通機関の利便性                | -11.7% | 6.2%  | -25.6% | 6.1%  | -22.8% | 6.9%  |
|        | 25 | 公園・緑地等の憩いの場               | 10.7%  | 1.8%  | 9.1%   | 1.3%  | 19.0%  | 1.7%  |
|        | 26 | 天理らしい景観と歴史的風土の保存に向けた取組み   | 22.0%  | 1.2%  | 31.2%  | 1.3%  | 48.5%  | 1.2%  |
|        | 27 | 良好な住環境の整備                 | 11.3%  | 3.4%  | 11.4%  | 2.7%  | 19.1%  | 3.6%  |
|        | 28 | 上水道の整備                    | 53.7%  | 0.4%  | 73.0%  | 0.6%  | 77.4%  | 0.3%  |
|        | 29 | 下水道の整備                    | 51.0%  | 0.4%  | 70.4%  | 0.5%  | 70.6%  | 0.5%  |
| 行財政運営  | 30 | 地域の環境保全の取組み               | 16.6%  | 1.0%  | 20.8%  | 0.6%  | 26.9%  | 1.1%  |
|        | 31 | 適切な行財政運営に向けた取組み           | 7.7%   | 3.8%  | 9.1%   | 3.5%  | 12.8%  | 2.6%  |
|        | 32 | 県や周辺市町村との連携体制             | 10.6%  | 1.5%  | 13.5%  | 0.8%  | 21.3%  | 1.1%  |

誰もが地域で安心して健やかに暮らせる「福祉」の充実

地域の資源や人材を活用し、一人ひとりの豊かな未来を育む「教育」の充実

天理ならではの魅力を活かした「賑わい」の創造

活力あふれる「産業」の推進と安心して働ける場の創出

災害や社会変容に備えた「安心・安全」して暮らせるまちづくりの確率

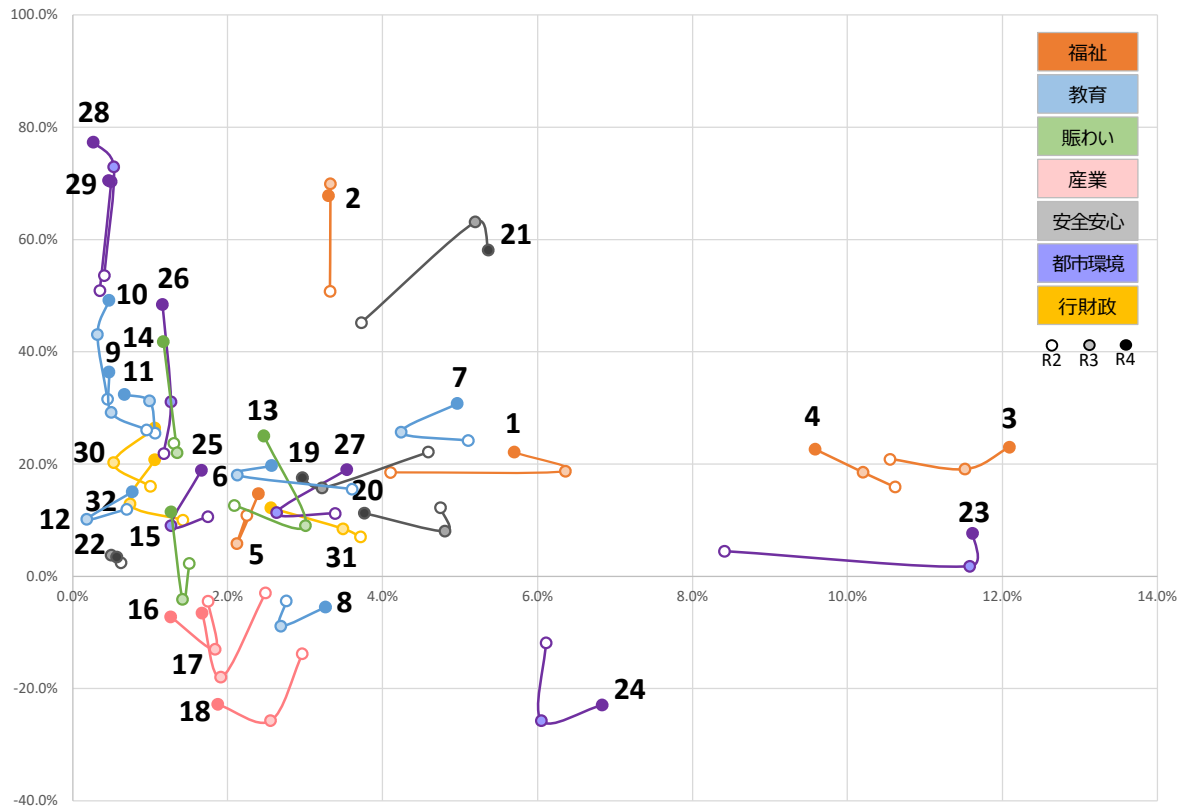
都市基盤の整備と環境保全による快適で住みやすい「都市環境」の確率

多様な連携・協働による持続可能な「行財政運営」の推進

## 分析結果(全体)

- 32 政策指標のうち、令和4年度において重要度が高い取組み（重要度が8%以上）は、「3：安心して子どもを産み育てられる子育て支援」、「4：介護保険サービスや高齢者の自立した生活」、「23：住みやすい都市環境に向けた整備」の3つとなった。
- 32 政策指標のうち、令和4年度において重要度が低い取組み（重要度が1%以下）は、「10：文化財の保存と活用」、「11：人権の尊重・人権教育啓発」、「12：男女共同参画、女性活躍の推進」、「22：消費者トラブルに対する相談窓口等の体制」、「28：上水道の整備」、「29：下水道の整備」の6つとなった。
- 32 政策指標のうち、令和4年度において充実度が高い取組み（充実度が40%以上）は、「2：各種健診や相談等の健康づくり」、「10：文化財の保存と活用」、「14：芸術文化やスポーツに親しむ機会や場所」、「21：消防・救急体制」、「26：天理らしい景観と歴史的風土の保存に向けた取組み」、「28：上水道の整備」、「29：下水道の整備」の7つとなった。
- 32 政策指標のうち、令和4年度において充実度が低い取組み（充実度が0%未満）は、「8：不登校やひきこもり等、青少年の健やかな育成への支援」、「16：農林業の振興」、「17：商工業の振興」、「18：市内の就労環境」、「24：公共交通機関の利便性」の5つとなった。
- 令和2年度から令和4年度にかけて充実度が大きく上がった取組み（15ポイント差以上）は、「2：各種健診や相談等の健康づくり」が17ポイント、「10：文化財の保存と活用」が17.6ポイント、「14：芸術文化やスポーツに親しむ機会や場所」が18.1ポイント、「26：天理らしい景観と歴史的風土の保存に向けた取組み」が26.5ポイント、「28：上水道の整備」が23.7ポイント、「29：下水道の整備」が19.6ポイントとなった。
- 令和4年度において、重要度が高いにも関わらず充実度が低い取組みは、「24：公共交通機関の利便性」となった。

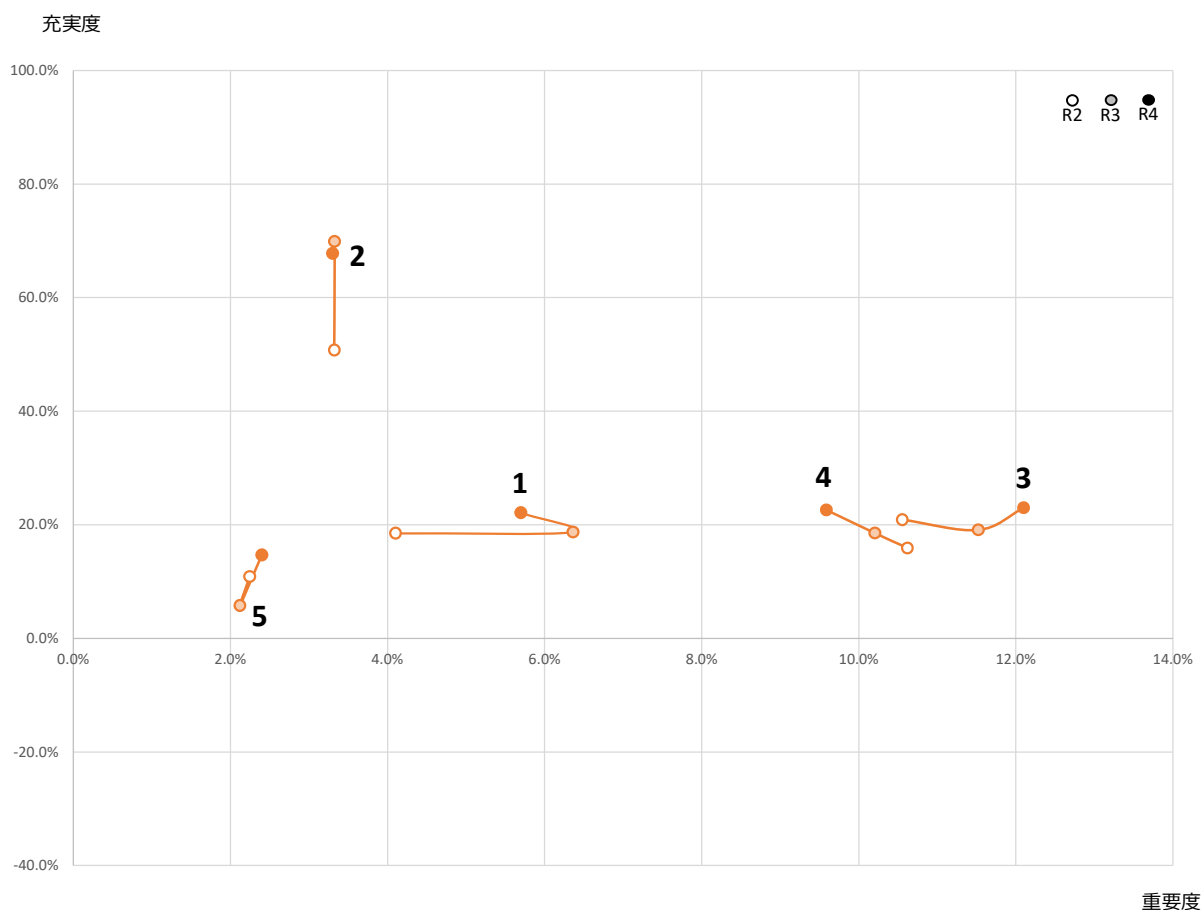
充実度





## 分析結果(福祉)

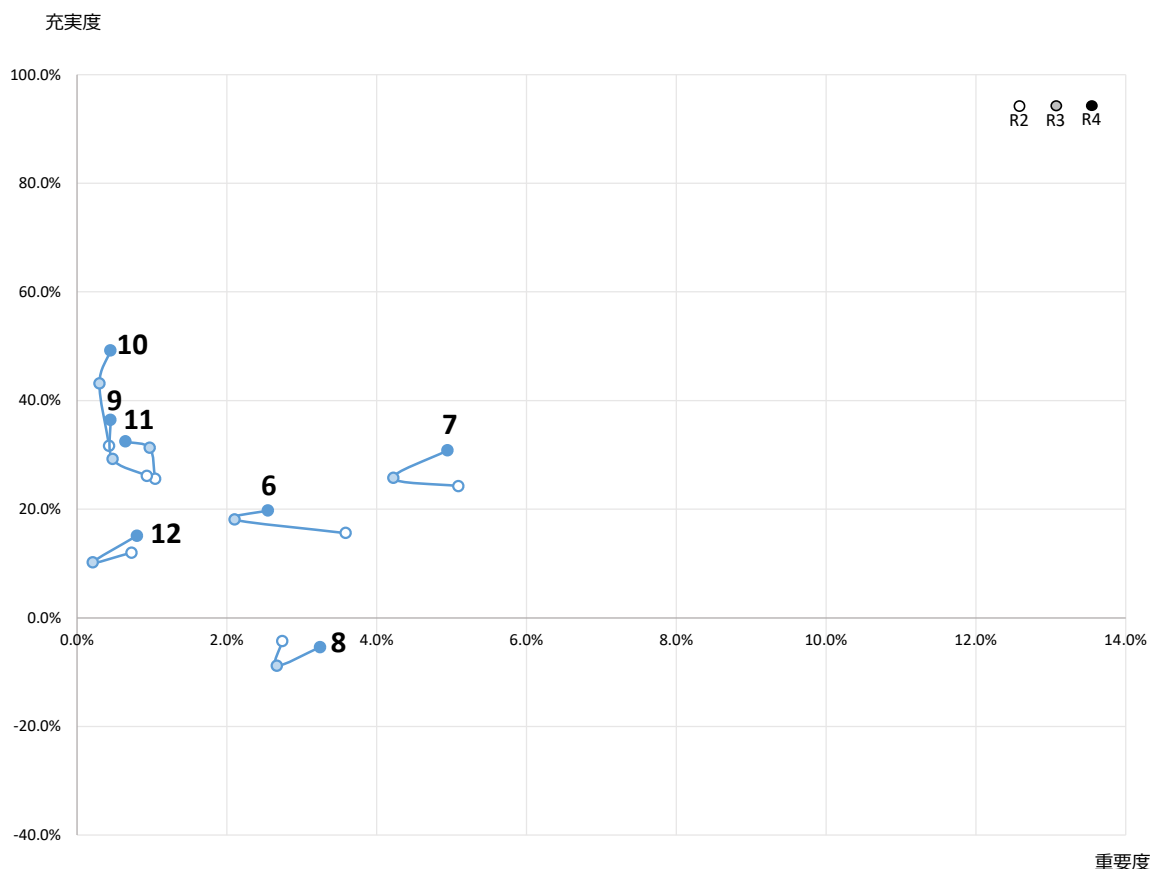
- 福祉の分野は、全体と比べて取組みの重要度が高くなった。
- 令和2年度と令和4年度を比較すると、
  - ・「1：地域全体でお互いに支え合い助け合う機会や仕組み」は、重要度が1.6ポイント、充実度が3.6ポイント上がった。
  - ・「2：各種健診や相談等の健康づくり」は、重要度は同じだが、充実度は17ポイント上がった。
  - ・「3：安心して子どもを産み育てられる子育て支援」は、重要度が1.5ポイント、充実度が2.1ポイント上がった。
  - ・「4：介護保険サービスや高齢者の自立した生活」は、重要度は1ポイント下がったが、充実度は6.7ポイント上がった。
  - ・「5：障害のある人に対する支援」の重要度は1ポイント下がった。充実度は5.1ポイント下がったが、令和2年度と令和4年度を比較すると3.8ポイント上がった。



## 分析結果(教育)

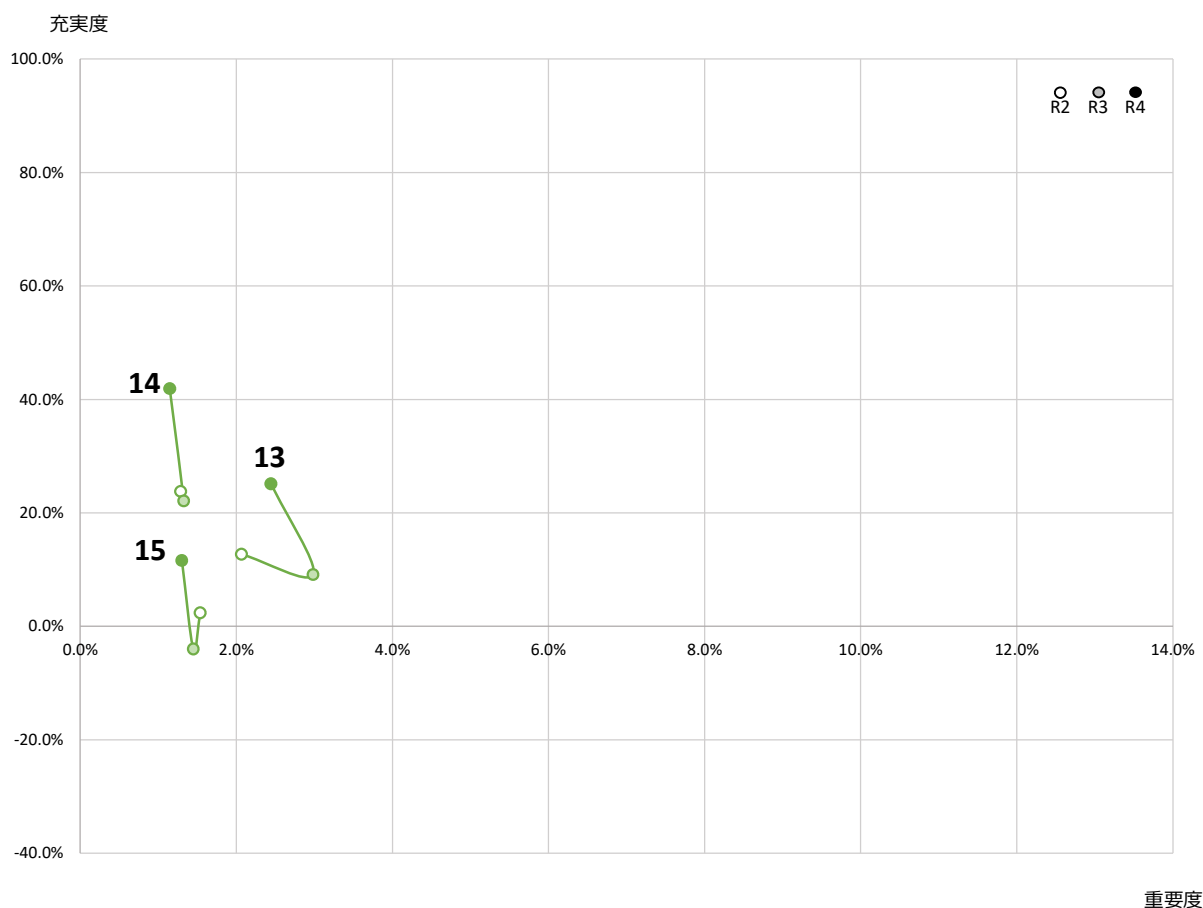
○令和2年度と令和4年度を比較すると、

- ・「8：不登校やひきこもり等、青少年の健やかな育成への支援」の充実度が下がったが、他の6つの取組みの充実度は上がった。
- ・「6：就学前・学校教育」は、重要度は1ポイント下がり、充実度は4.2ポイント上がった。
- ・「7：小中学校における教育環境」は、重要度は0.1ポイント下がったが、充実度は6.6ポイント上がった。
- ・「8：不登校やひきこもり等、青少年の健やかな育成への支援」は、重要度は0.5ポイント上がったが、充実度は1.1ポイント下がった。3年間通して充実度が0%を下回っている。
- ・「9：文化教室・講座等の多様な学習機会」は、重要度は0.5ポイント下がったが、充実度は10.3ポイント上がった。
- ・「10：文化財の保存と活用」は、重要度は同じだが、充実度は17.6ポイントと大きく上がった。
- ・「11：人権の尊重・人権教育啓発」は、重要度は0.4ポイント下がったが、充実度は6.9ポイント上がった。
- ・「12：男女共同参画、女性活躍の推進」は、重要度が0.1ポイント、充実度が3.1ポイント上がった。



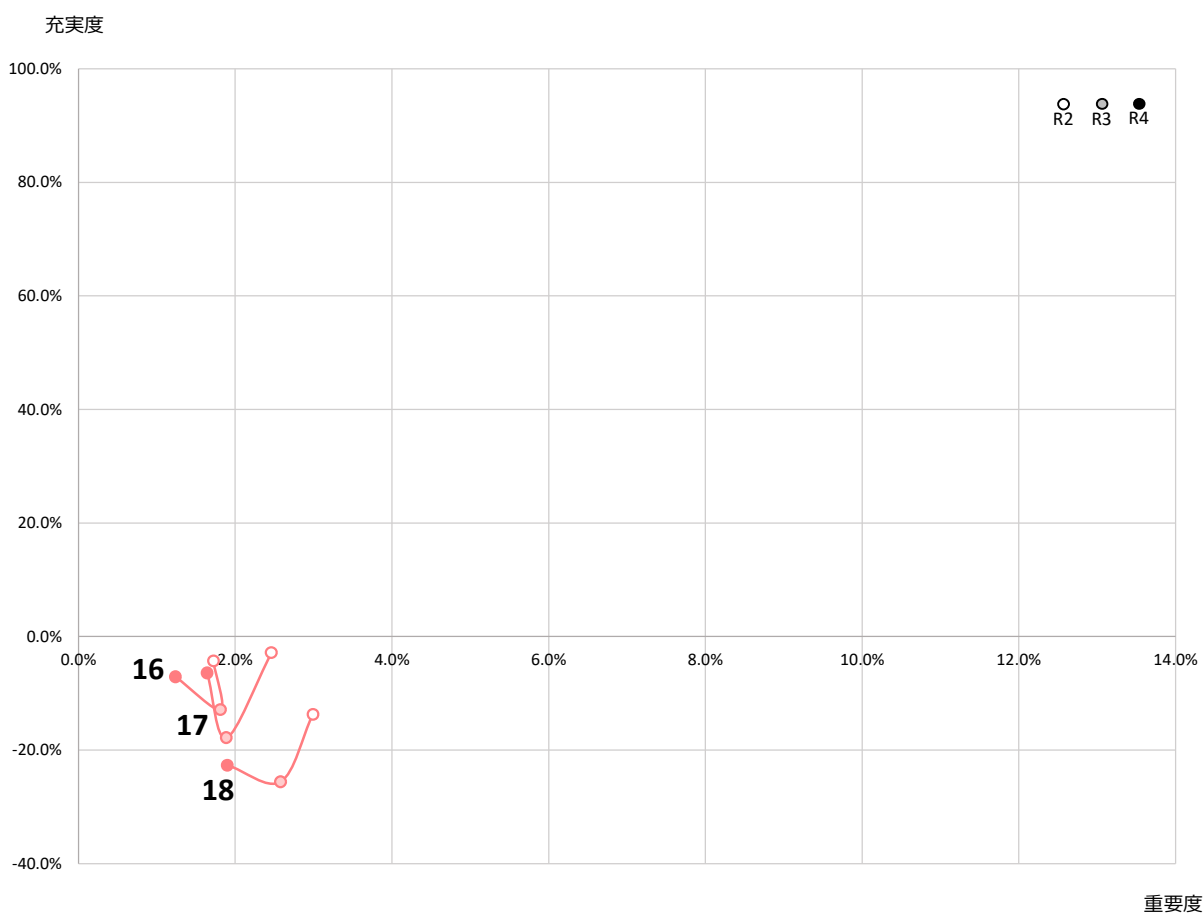
## 分析結果(賑わい)

- 賑わいの分野は、3つ全ての取組みで、令和2年度と令和3年度を比較すると充実度は下がったが、令和2年度と令和4年度を比較すると充実度は上がった。
- 令和2年度と令和4年度を比較すると、
  - ・「13：天理の魅力を活かした観光振興」は、重要度は0.4ポイント上がり、充実度は12.4ポイント（令和2年度比16ポイント）上がった。
  - ・「14：芸術文化やスポーツに親しむ機会や場所」は、重要度は0.1ポイント下がり、充実度は18.1ポイント（令和2年度比19.8ポイント）と大きく上がった。
  - ・「15：地域内外に向けた天理の魅力の発信」は、重要度は0.2ポイント下がり、充実度は9.2ポイント上がった。



## 分析結果(産業)

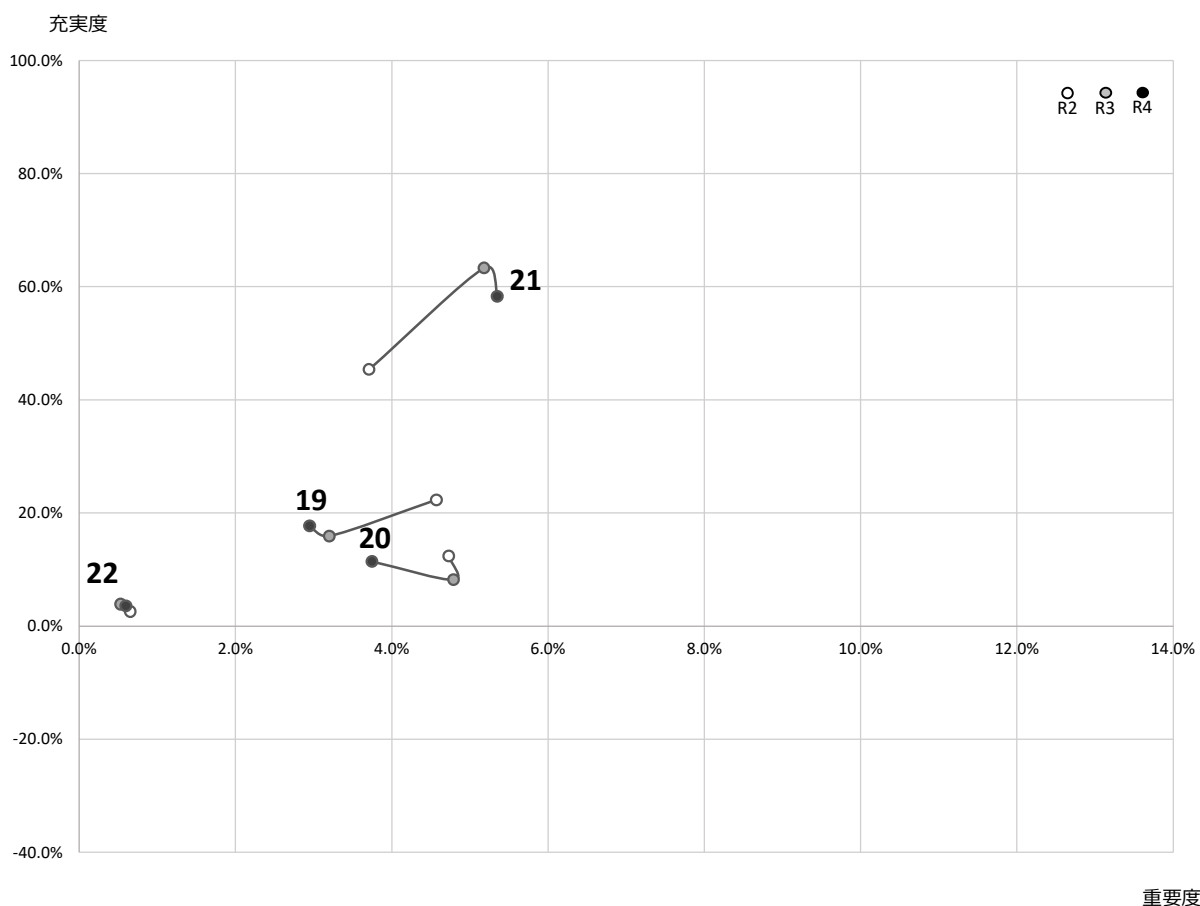
- 産業の分野では、3年間通して、3つ全ての取組みで充実度が0%を下回った。
- 令和2年度と令和4年度を比較すると、
  - ・「16：農林業の振興」は、重要度が0.5ポイント、充実度が2.8ポイント下がった。
  - ・「17：商工業の振興」は、重要度が0.8ポイント、充実度が3.6ポイント下がった。
  - ・「18：市内の就労環境」は、重要度が1.1ポイント、充実度が9ポイント下がった。



## 分析結果(安全・安心)

○令和2年度と令和4年度を比較すると、

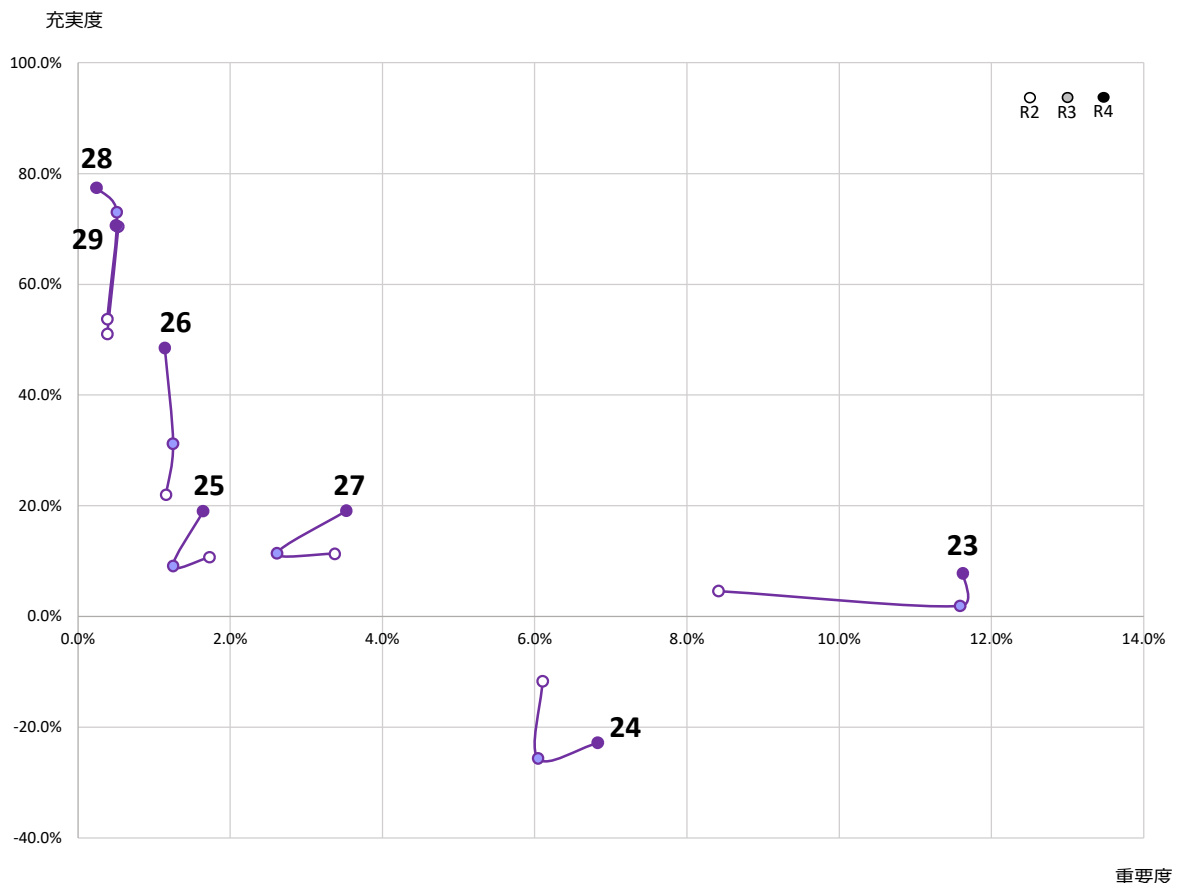
- ・安全・安心の分野では、「21：消防・救急体制」で充実度が上がった。
- ・「19：日頃の防災対策」は、重要度が1.6ポイント、充実度が4.6ポイント下がった。
- ・「20：日常生活の中での犯罪や事故への対策」は、重要度と充実度がそれぞれ1ポイントずつ下がった。
- ・「21：消防・救急体制」は、重要度が1.6ポイント、充実度が12.9ポイント上がった。
- ・「22：消費者トラブルに対する相談窓口等の体制」は、重要度と充実度ともにほぼ同じだった。



## 分析結果(都市環境)

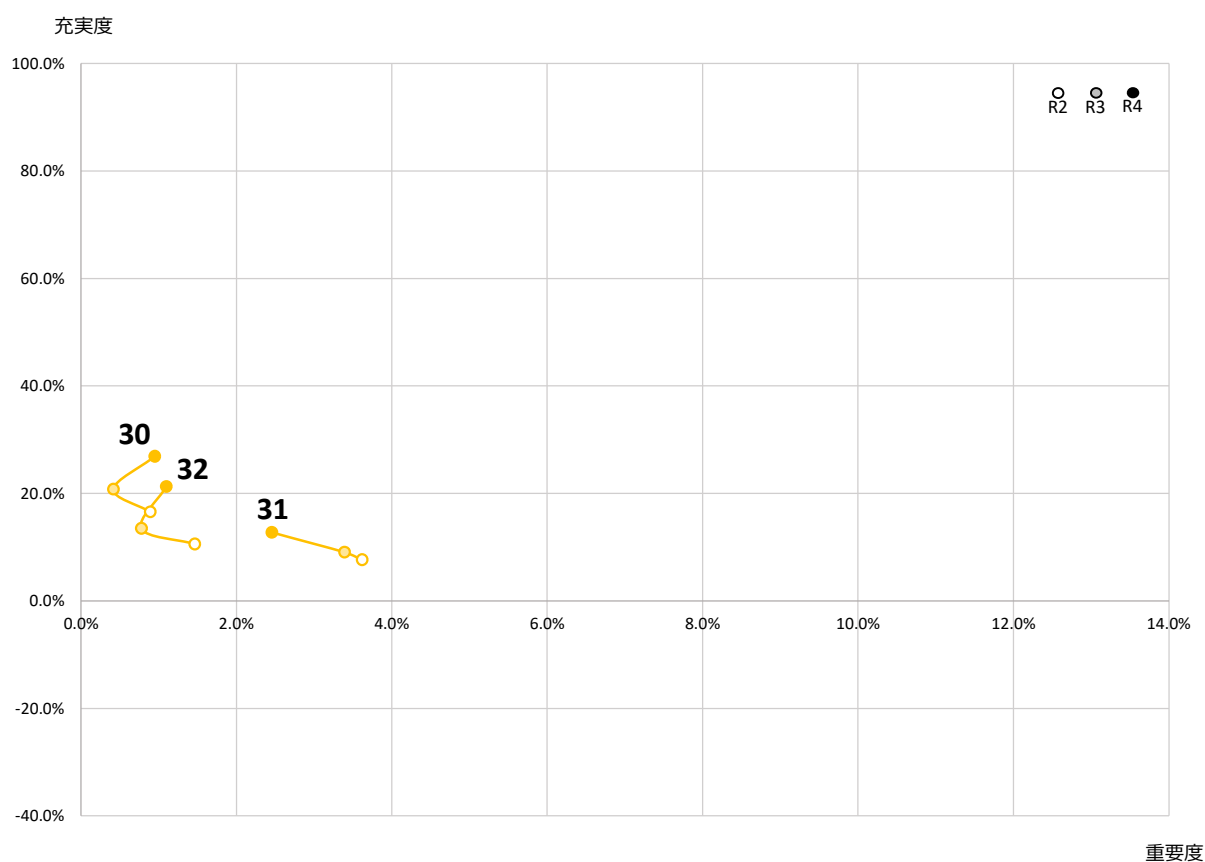
○令和2年度と令和4年度を比較すると、

- ・都市環境の分野では、「26：天理らしい景観と歴史的風土の保存に向けた取組み」、「28：上水道の整備」、「29：下水道の整備」の3つの充実度が大きく上がったが、「24：公共交通機関の利便性」は充実度が下がった。
- ・「23：住みやすい都市環境に向けた整備」は、重要度が3.2ポイント、充実度が3.2ポイント上がった。
- ・「24：公共交通機関の利便性」は、重要度は0.7ポイント上がったが、充実度は11.1ポイント下がった。3年間通して充実度が0%を下回っている。
- ・「25：公園・緑地等の憩いの場」は、重要度は0.1ポイント下がったが、充実度は8.3ポイント上がった。
- ・「26：天理らしい景観と歴史的風土の保存に向けた取組み」は、重要度は同じだが、充実度は26.5ポイントと大きく上がった。
- ・「27：良好な住環境の整備」は、重要度が0.2ポイント、充実度が7.8ポイント上がった。
- ・「28：上水道の整備」は、重要度は0.1ポイント下がったが、充実度は23.7ポイントと大きく上がった。
- ・「29：下水道の整備」は、重要度が0.1ポイント、充実度が19.6ポイントと大きく上がった。



## 分析結果(行財政)

- 令和2年度と令和4年度を比較すると、
  - ・行財政の分野では、3つの取組み全てで充実度が上がった。
  - ・「30：地域の環境保全の取組み」は、重要度は0.4ポイント下がったが、充実度は10.3ポイント上がった。
  - ・「31：適切な行財政運営に向けた取組み」は、重要度は1.2ポイント下がったが、充実度は5.1ポイント上がった。
  - ・「32：県や周辺市町村との連携体制」は、重要度が0.1ポイント、充実度が10.7ポイント上がった。





## 2. 自由記入におけるテキストマイニングによる調査・分析

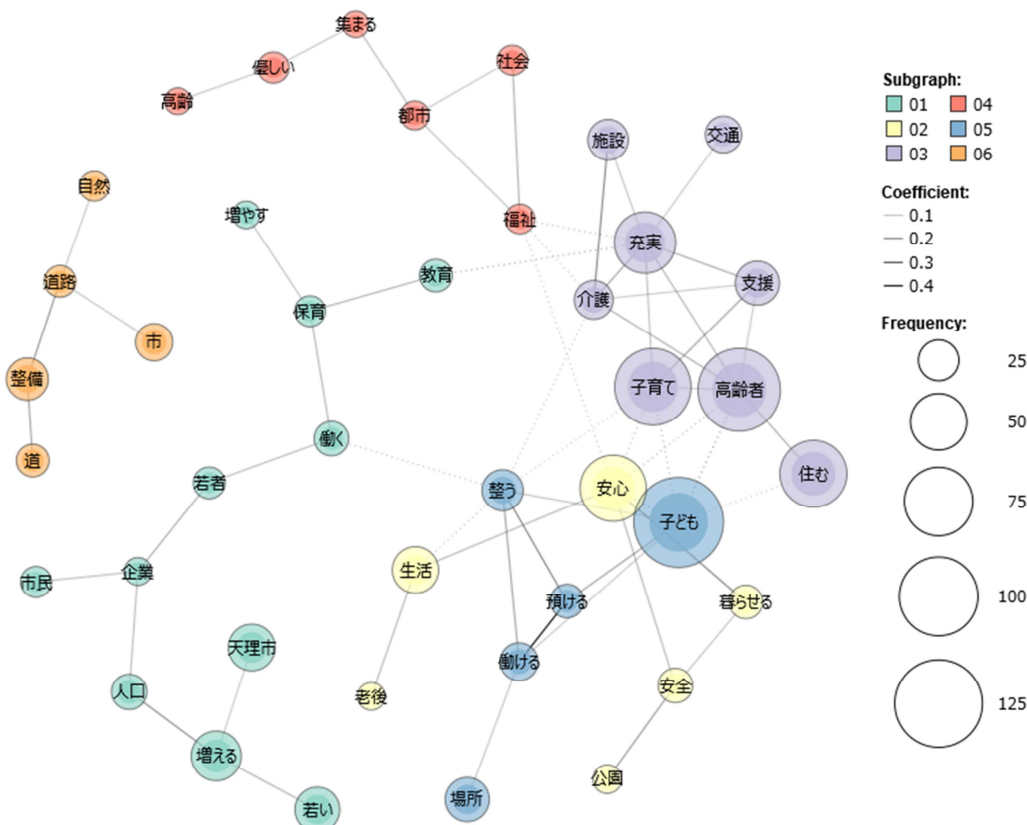
市民意識調査（市政アンケート）の自由記入の回答において、テキストマイニングを実施した。調査対象となる時期は令和2年度から令和4年度で、該当する設問は、問5「10年後の天理市はどのような姿になっていれば良いと思いますか。」、問6「これからの天理市にはどのような施策や取組みが必要だと思いますか。」で、回答の自由記入に対して頻出キーワードの量、キーワード間のつながり、それらの経年での変化を分析した。

分析の結果、頻出キーワードやつながりにおいて、経年の変化が見られなかったため、令和4年度の分析結果を整理した。

### (1)10年後の天理市の姿

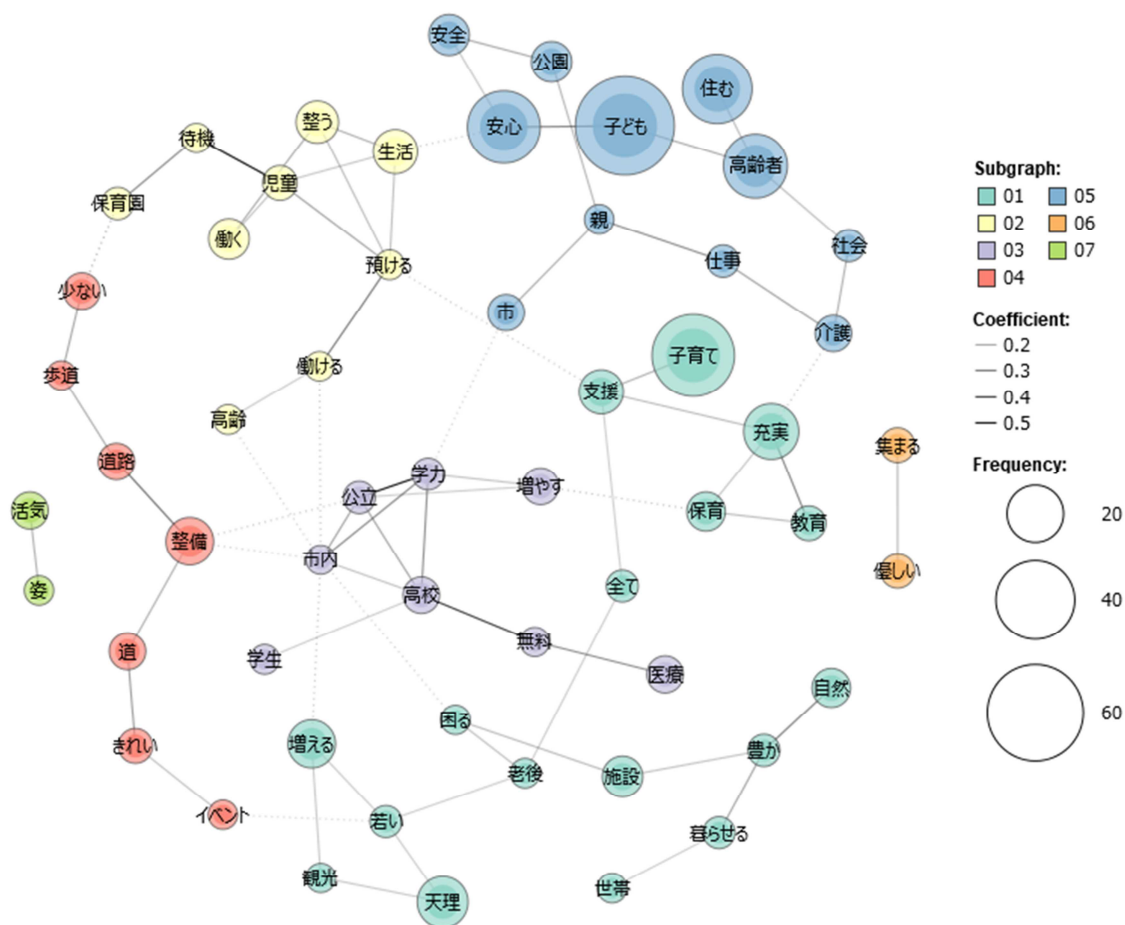
<全年代> サンプル数:448件

- ・登場回数が多いキーワードは「子ども」、「高齢者」、「子育て」、「充実」、「住む」、「安心」、「支援」となっている。
- ・「子ども」については「安心」、「暮らせる」、「預ける」、「働ける」とのつながりがみられた。
- ・「高齢者」については「子育て」、「充実」、「支援」、「住む」、「介護」とのつながりがみられた。
- ・つながりが強いキーワードは、「施設」⇔「介護」、「整う」⇔「預ける」⇔「働ける」となっている。



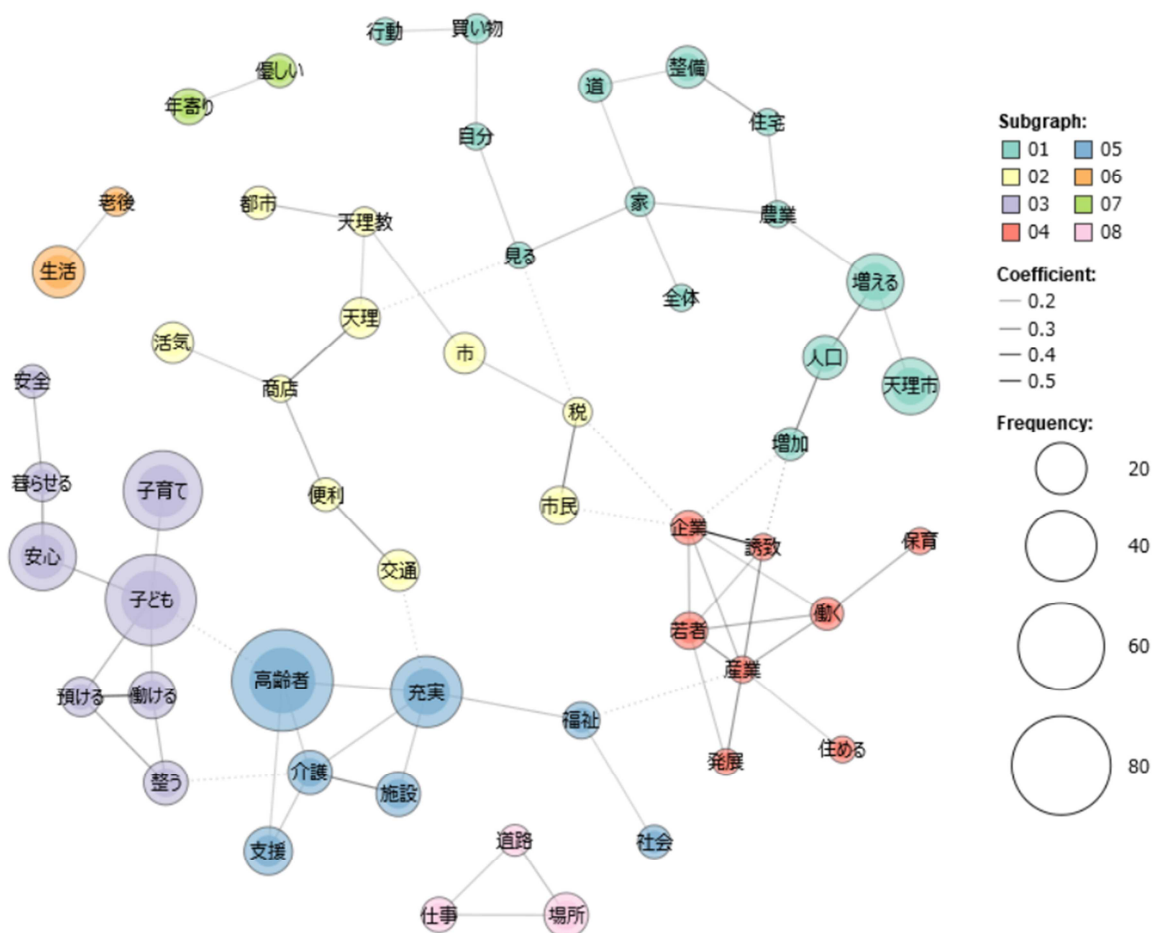
<49歳以下> サンプル数:181件

- ・登場回数が多いキーワードは「子ども」、「高齢者」、「安心」、「住む」、「子育て」となっている。
- ・「子ども」については「安心」、「高齢者」とのつながりがみられ、「高齢者」については「住む」、「社会」とのつながりがみられた。
- ・「子育て」については「支援」とのつながりがみられ、その先には「充実」、「保育」、「教育」とのつながりがみられた。
- ・つながりが強いキーワードは「高校」⇔「無料」、「公立」⇔「学力」、「待機」⇔「児童」、「道路」⇔「整備」となっている。



<50歳以上> サンプル数:265件

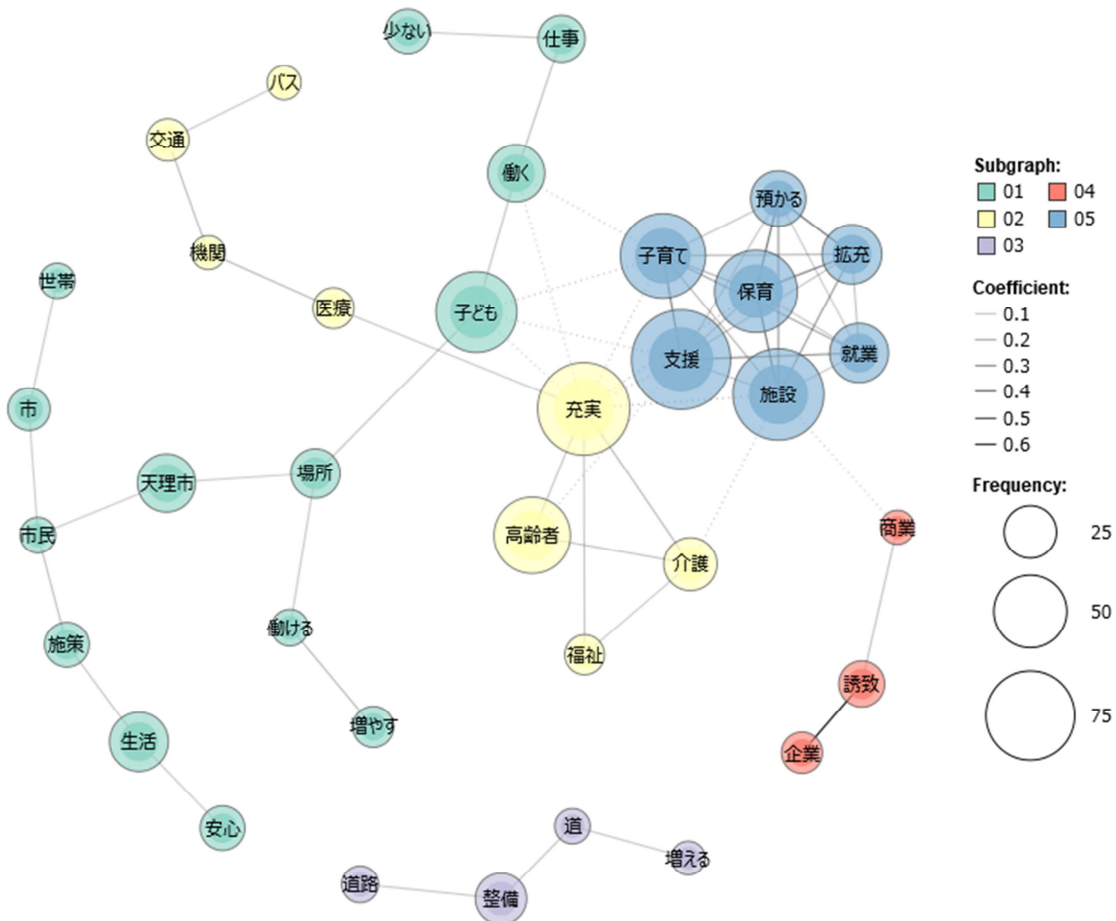
- ・登場回数が多いキーワードは、「子ども」、「高齢者」、「子育て」、「充実」、「生活」、「天理市」となっている。
- ・「子ども」については「子育て」、「安心」、「預ける」、「働ける」とのつながりがみられ、「預ける」と「働ける」の先には「整う」がつながっている。
- ・「高齢者」については「充実」、「介護」、「支援」とのつながりがみられ、その先には「福祉」、「施設」がつながっている。
- ・「天理市」については「増える」がつながっており、その先には「人口」、「農業」がつながっている。
- ・つながりが強いキーワードは「企業」⇔「誘致」、「介護」⇔「施設」、「預ける」⇔「働ける」、「人口」⇔「増加」となっている。



## (2)これからの天理市に必要な施策

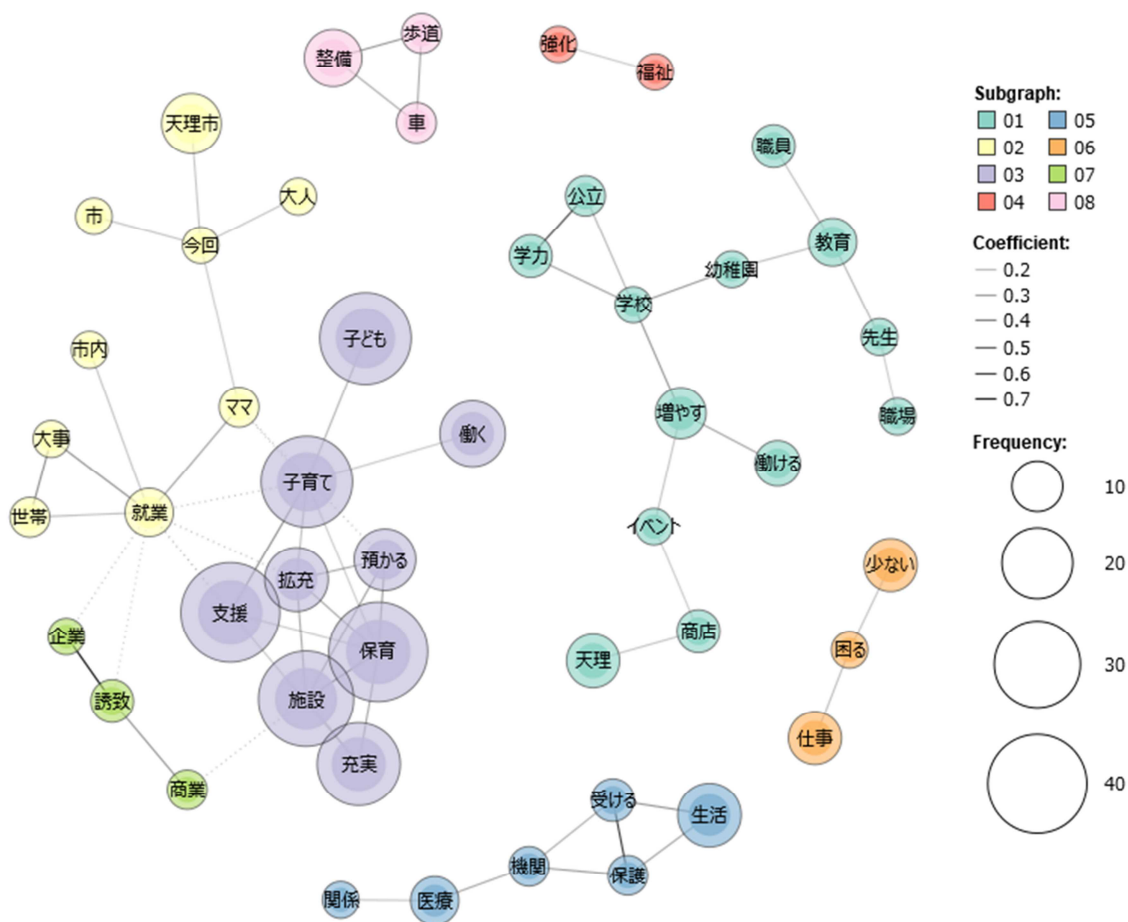
<全年代> サンプル数:394 件

- ・登場回数が多いキーワードは、「充実」、「支援」、「施設」、「子育て」、「保育」、「子ども」、「高齢者」となっている。
- ・「充実」については「高齢者」、「介護」、「福祉」とのつながりがみられた。
- ・「支援」については「子育て」、「保育」、「施設」、「就業」、「預かる」、「拡充」とのつながりがみられた。
- ・「子ども」については「働く」、「場所」がつながっており、その先には「仕事」、「少ない」と「働ける」、「増やす」がつながっている。
- ・つながりが強いキーワードは「預かる」⇔「保育」⇔「施設」、「子育て」⇔「支援」、「企業」⇔誘致」となっている。



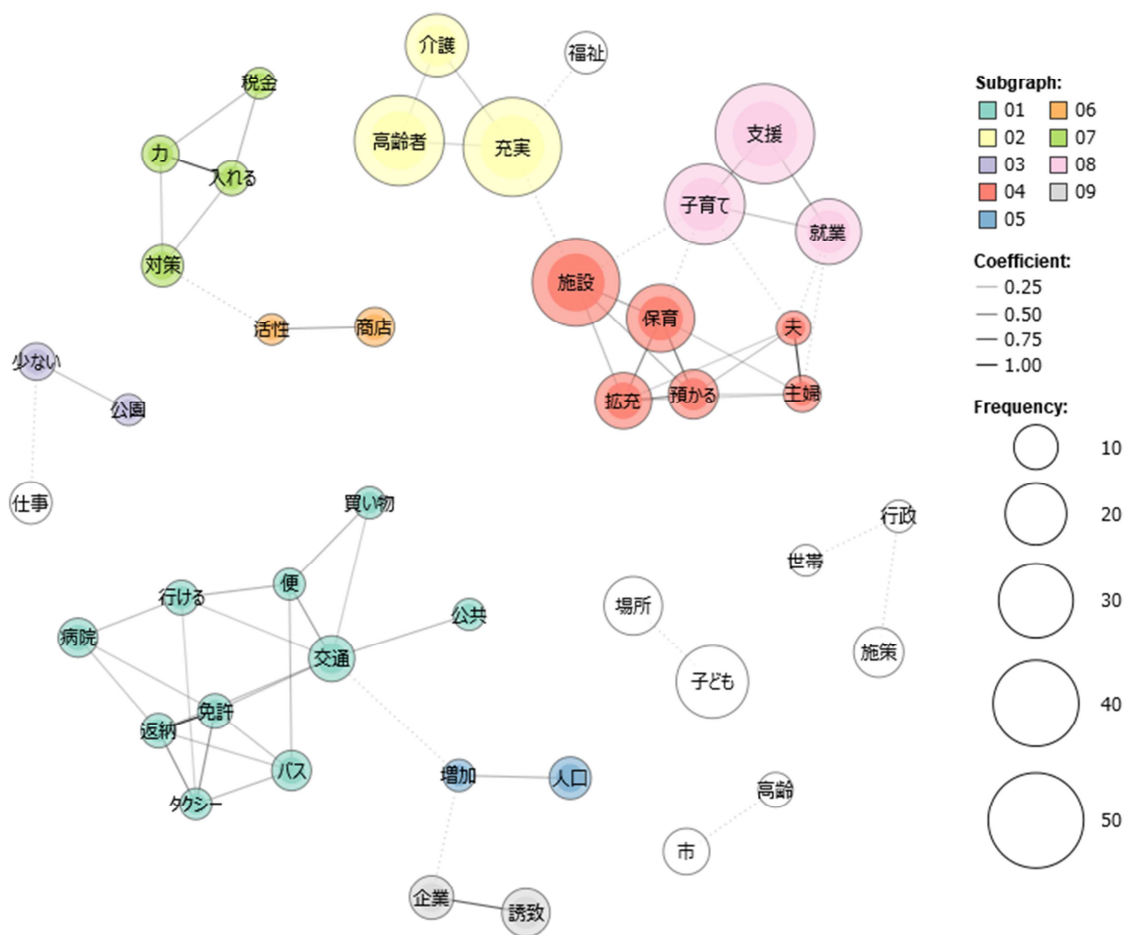
<49歳以下> サンプル数:158件

- ・登場回数が多いキーワードは、「支援」、「保育」、「施設」、「子育て」、「子ども」、「充実」、「働く」、「生活」、「天理市」、「整備」となっている。
- ・「支援」については「子育て」、「施設」、「保育」、「拡充」がつながっており、その先には「子ども」、「預かる」、「働く」がつながっている。
- ・「生活」については「保護」、「受ける」がつながっている。
- ・「整備」については「歩道」、「車」がつながっている。
- ・つながりが強いキーワードは「保護」⇔「受ける」、「公立」⇔「学力」、「企業」⇔「誘致」となっている。



<50歳以上> サンプル数:231件

- ・登場回数が多いキーワードは、「充実」、「支援」、「施設」、「高齢者」、「保育」、「子育て」、「就業」、「介護」となっている。
- ・「充実」については「高齢者」、「介護」とつながっている。
- ・「支援」については「子育て」、「就業」とつながっている。
- ・「施設」については「保育」、「拡充」、「預かる」とつながっており、その先には「主婦」、「夫」がつながっている。
- ・つながりが強いキーワードは「免許」⇔「返納」、「夫」⇔「主婦」、「力」⇔「入れる」となっている。



### Ⅲ 分析のまとめ

「Ⅰ 人口動向に関する調査・分析」、「Ⅱ 市民意識調査（市政アンケート）に関する調査・分析」から、人口動向に関する課題を以下のとおり整理する。

- 天理市の25～49歳における未婚率は、周辺市より高くなっており、特に男性の未婚率が高く、年齢別では、30歳以上で奈良県よりも割合が高くなっている。
- 出生数は、2016年から2017年にかけて増加したが、その後は減少傾向にあり、年々減少率が大きくなっている。また、合計特殊出生率も同様に減少している。
- 子どもをもう一人生み育てたいかについては約半数が「思わない」と回答しており、子育てや教育に関する経済的な理由が多い。一方で、子育てしながら働きやすい仕事や雇用形態の充実に対する意見も半数以上あることから、子育てと仕事の両立に向けた環境づくりが求められている。
- 子育て世帯は、周辺自治体よりも世帯あたりの子ども数が多いにも関わらず、子どもが小さいころから働く主婦が多い。子どもを預かりながら仕事ができる環境、通学路等の道路安全性の向上など、安心して子育てができる環境が求められる。
- 世帯当たりの子どもの数は多いが、一方で独身の割合が高い。そこには収入が影響していると考えられ、就職や転職で転出する若者に居続けてもらうためにも、若者や子育て主婦等が魅力とを感じる仕事づくりや企業の誘致が求められている。
- 賃貸や三世帯世帯の割合が高いことから「移動できる人」が多い。周辺市町への転出の要因になっていると考えられ、市内での定着性を高める必要がある。
- 市民意識調査（市政アンケート）の32政策指標の評価において、令和4年度において充実度が低い取組みは、「8：不登校やひきこもり等、青少年の健やかな育成への支援」、「16：農林業の振興」、「17：商工業の振興」、「18：市内の就労環境」、「24：公共交通機関の利便性」となっており、重要度が高いにも関わらず充実度が低い取組みは、「24：公共交通機関の利便性」となった。
- 市民意識調査（市政アンケート）のテキストマイニングでは、「子ども」、「高齢者」、「子育て」、「支援」、「保育」、「支那」、「充実」のキーワードの登場が多くみられ、「子ども」については「預ける」や「働ける」、「高齢者」については「介護」「支援」とのつながりが多くみられた。